

佐久市立図書館システム機能要件書

令和7年5月

佐久市立図書館

目次

I システム全般	(1) 全般
II 貸出	(1) 全般
III 返却	(1) 全般
IV 利用者	(1) 利用者登録
	(2) 利用者検索
	(3) 利用者管理
V 検索	(1) 全般
	(2) 検索結果一覧
	(3) 検索結果詳細
VI 予約	(1) 予約登録
	(2) 在架予約
	(3) 予約連絡
	(4) 予約その他
VII 閲覧その他	(1) 統計
	(2) 督促
	(3) レファレンス管理
	(4) 非常時貸出
VIII 図書管理	(1) マーク管理
	(2) 選書
	(3) 発注
	(4) 受入
	(5) 排架
	(6) 蔵書管理
	(7) 相互貸借
	(8) 予算管理
IX 雑誌管理	(1) 雑誌管理
	(2) 新聞記事登録
X システム管理	(1) スタッフ登録
	(2) 休館日設定
	(3) 図書館登録
	(4) 閲覧規則設定
	(5) コード設定
	(6) アクセスログ
	(7) システムログ
X I 蔵書点検	(1) 全般
X II その他	(1) 移動図書館管理
	(2) セルフ貸出
	(3) 読書通帳機
	(4) オーディオブック
X III タッチパネル式OPAC	(1) 全般
	(2) お知らせ
	(3) 検索
	(4) 予約
	(5) 利用者のページ
	(6) 新着案内
	(7) ベストリーダー
	(8) ベストオーダー
	(9) 資料一覧
	(10) おすすめリスト
X IV インターネットOPAC	(1) 全般
	(2) お知らせ
	(3) 検索
	(4) 予約
	(5) お気に入り登録
	(6) 利用者のページ
	(7) 新規パスワード生成
	(8) 新着案内

X V スマートフォンOPAC

- (9) ベストリーダー
- (10) ベストオーダー
- (11) 資料一覧
- (12) 雑誌タイトル一覧
- (13) おすすめリスト
- (14) レファレンスサービス

- (1) 全般
- (2) お知らせ
- (3) 検索
- (4) 予約
- (5) お気に入り登録
- (6) 利用者のページ
- (7) 新規パスワード生成
- (8) 新着案内
- (9) ベストリーダー
- (10) ベストオーダー
- (11) 資料一覧
- (12) 雑誌タイトル一覧
- (13) おすすめリスト

X VI 帳票
出力帳票

- (1) 全般
- (1) 閲覧関連
- (2) レファレンス管理
- (3) AVブース管理
- (4) 図書管理関連
- (5) 雑誌管理関連
- (6) 非常時BM関連
- (7) 蔵書点検関連
- (8) 一括処理関連
- (9) OPAC関連
- (10) システム関連

Ⅰ システム全般

No	要求仕様
(1) 全般	
1	サーバOSはWindows,Linuxに対応し、メーカー依存の無い柔軟なシステム構築が可能であること
2	WEBベースアプリケーションであり、端末側には一般的なWEBプラグインソフト以外はインストールをしなくてもよいシステムであること
3	基本データベースソフトウェアは国際標準言語(ISO)及び日本工業標準言語(JIS)に準拠したデータベースソフトウェアを備えていること
4	アプリケーションのバージョンアップはサーバ作業のみとし、クライアントに対してバージョンアップ作業負荷をかけないこと
5	使用期間中はバージョンアップの提供と作業を保守契約に含め、年1回以上のバージョンアップ機能を提供すること
6	リモートメンテナンスが可能なシステムであること
7	各端末で図書館業務以外の他のソフト(ワープロ、表計算、インターネット等)も、マルチタスクで起動できること
8	日次処理、月次処理が必要のないシステムであること
9	データ数が増加することにより、DB再構築などのメンテナンス処理が必要のないシステムであること
10	インターネット公開用サーバを設置し、蔵書検索、予約等が業務サーバとリアルタイムに同期をとり処理できること。また新着案内、ベストリーダー、ベストオーダーよりシームレスに連携して予約処理が行えること
11	スケジューリングによる自動バックアップが可能であること
12	バックアップ処理が24時間稼動に影響を与えないように構築ができること
13	システムジャーナル保存機能があり、トラブルが起きた場合には、直前の状態にまで復旧が可能であること
14	多言語対応していること
15	サーバにアクセスする端末をIPアドレスにより制限ができること
16	表示文字の大きさを、ブラウザではなくアプリケーションで設定できること
17	どの業務画面からもワンクリックでログアウトが行えること
18	貸出、返却、予約、検索、利用者登録などは、メニューに戻らなくても展開可能なこと
19	キーボードだけで業務処理が行えるように各主要ボタンには、ショートカットキーが割り当てられていること
20	システムの操作権限についての操作者認証機能があること
21	処理機能単位での操作制限をID毎に設定ができること
22	MARCデータの登録などが業務に支障を与えることなく行えること
23	オンライン発注、利用者へのメール送信機能などを持ち、インターネットを活用できるシステムであること
24	日付の入力は、カレンダーより日付を選択して呼び出し可能なこと
25	予約確保連絡や個別連絡などの各種メール送信処理があること。メール送信時には、bccで図書館のメールアドレスに対して同じ文面を送信できること

Ⅱ 貸出

No	要求仕様
(1) 全般	
1	貸出返却窓口での操作は、マウスを用いずに簡便に行えること
2	処理の切り替えがバーコードで行えること
3	プライバシーに配慮して、一定時間で貸出初期画面に戻ることに
4	利用者情報を呼び出したときに、延滞資料あり、予約確保資料あり等のポップアップメッセージが表示できること メッセージ表示条件、on/off、メッセージ内容は自由に設定ができること
5	利用券スキャン時にあらかじめ登録されている利用者に対するメッセージが表示されること また、そのメッセージはシステム管理者が任意に設定でき、音声ファイルも指定できること
6	利用者番号スキャン時に更新時期が近い利用者に対してメッセージを表示できること また何日前から表示するかは設定できること
7	貸出画面から利用者番号のハイパーリンクをクリックすることにより利用者情報確認が行えること
8	利用者情報をすぐにメンテナンスできること ただし、権限のあるIDのみ可能とすること
9	利用者に対するメッセージは、定型語、自由入力どちらでも可能なこと
10	利用者に対するメッセージの更新履歴が確認できること
11	利用者がカードを忘れても、利用者検索により情報を呼び出せること
12	利用者検索は、以下の項目で検索できること(名前、電話番号、生年月日、メールアドレス、住所コード)
13	未登録の利用券を走査した際に自動的に仮の利用者データを作成し、貸出処理ができること

14	自館確保資料がある場合は、自動的に予約状況画面へ遷移できること
15	貸出画面で、資料区分毎の貸出冊数、延滞冊数、督促冊数、紛失冊数、予約件数(確保中/予約冊数)が表示できること
16	貸出画面で各利用者の冊数制限の確認ができること
17	貸出画面に貸出一覧が表示できること また、貸出一覧は設定により「全て/今回」、「全て/前回」の表示を選択できること
18	貸出一覧の並び順は、画面上より変更できること 並び順は以下の種類があること 貸出日降順、貸出日昇順、返却日降順、返却日昇順
19	貸出一覧は、貸出館毎の表示に切り替えることができること
20	延滞資料は目立った色で表示されること
21	貸出画面からラベル番号のハイパーリンクをクリックすることにより蔵書情報の確認修正が行えること
22	貸出画面における利用者情報、貸出一覧の表示内容は打合せにより柔軟に対応すること
23	貸出資料のバーコード走査を連続で行っても、WEBブラウザのリロードが起こらずにレスポンスよく貸出情報一覧が更新できること
24	確定処理が必要ないこと ただし、貸出取消処理が行えて統計にも反映されないこと
25	貸出取消をした際に、予約データが復旧されること
26	資料バーコードスキャン時に資料状態がチェックされて、禁帯出、付録付き、予約有り、不明、除籍、紛失中、弁償済資料などポップアップメッセージが表示できること また、そのメッセージはシステム管理者が任意に設定でき、音声ファイルも指定できること
27	利用制限をオーバーする場合は、メッセージの他に、現在の利用点数と上限の情報が合わせて表示されること
28	貸出規則に反するものでも、メッセージ確認により処理が続行できること
29	未登録資料でもデータを登録することなく貸出できること
30	相互貸借資料の貸出が行えること
31	通常貸出と館内貸出を区別して貸出できること
32	貸出日を任意の日付に指定してから貸出が行えること(返却期限日は指定した貸出日からの起算になること)
33	休館日カレンダーをメンテナンスすることで、返却期限日を休館日になることを避けることができること
34	貸出規則はシステム管理者が任意に設定できること
35	返却期限日変更時に、日付をカレンダーから指定できること
36	貸出票をレシートに印刷できること(資料番号/書名/返却期限日)
37	団体利用者向けの貸出リストが貸出画面から印刷できること
38	プライバシー保護のため、貸出票には利用者名や連絡先が印字されないこと
39	既に貸出中の資料をスキャンして貸出更新できること
40	貸出更新を行う場合は、予約のチェックや更新回数のチェックを行えること また、この設定を図書館で自由に設定できること
41	貸出画面から紛失処理ができること。紛失処理した資料は、督促対象から除外できること
42	貸出画面から弁償処理ができること。弁償処理をすると資料は自動返却され、不明状態になること
43	貸出画面から調査処理ができること。調査処理をした資料は、利用冊数にカウントされないこと(利用者が返却したつもりでも、返却状態になっておらず資料が見つからないような場合を想定)
44	貸出画面から督促の履歴を確認できること また、督促の備考も登録できること
45	貸出画面から利用者の予約情報が確認できること
46	予約一覧で、予約確保済資料の背景色を、受取館別に変えられること
47	予約一覧で、予約確保済資料は確保期限日の近い順に並ぶこと
48	予約一覧で、予約データの背景色を状態に応じて設定できること
49	予約一覧から予約の取消、受取館、連絡方法、確保期限日、予約待ち期限日、連絡日の変更ができること
50	予約一覧から予約の取り消しをした際に、取消理由を選択できること
51	予約一覧からシリーズ予約の確保順を変更できること
52	予約状況画面に予約キャンセル情報を一定期間表示できること
53	予約状況画面に選書(リクエスト)情報を表示できること
54	貸出画面から家族の利用状況を確認できること
55	利用券スキャン時に家族利用者に予約資料がある場合は、ポップアップメッセージが表示できること
56	利用券スキャン時に家族利用者に督促資料がある場合は、ポップアップメッセージが表示できること
57	家族の予約確保資料を代わりに貸し出すことができ、家族の予約は削除されること
58	委託スタッフ向けに機能を絞った貸出・返却処理機能があること また色弱者の方のための背景色変更機能があること
59	利用者自身で貸出処理を行えるセルフ貸出機能があること

60	貸出データの返却期限日を一括で変更できること 対象データは貸出館、貸出日、返却期限日等で抽出が行え、相互貸借資料、紛失資料、調査資料を含むかどうかを選択できること
61	貸出データの返却期限日を一括変更する際、元の返却期限日から指定日数を延長する、指定した日付に設定する、いずれの変更も可能なこと

Ⅲ返却

No	要求仕様
(1)全般	
1	返却資料のバーコード連続走査による返却処理が行えること
2	返却資料のバーコード走査を連続で行っても、WEBブラウザのリロードが起らずにレスポンスよく返却情報一覧が更新できること
3	確定処理が必要ないこと
4	プライバシーに配慮して、一定時間で返却初期画面に戻ることに
5	返却処理画面で利用券番号を読み込むと、自動的に貸出処理画面に遷移すること
6	返却資料情報は、借用情報、紛失情報、貸出時に入力した備考が表示できること
7	返却時に返却者の貸出、予約一覧が表示できること
8	返却画面における資料状態・蔵書情報の表示内容は打合せにより柔軟に対応すること
9	返却資料情報を呼び出したときに、予約確保資料等のポップアップメッセージが表示できること メッセージ表示条件、on/off、メッセージ内容は自由に設定ができること また、音声ファイルも指定できること
10	予約資料が返却されたときに予約確保票がプリントアウトされること
11	予約確保票には、資料情報/予約者情報/電話区分/電話番号/予約備考/確保日/確保期限/確保通知方法/予約番号/予約種別/利用冊数/出力館/出力日時が印字されること
12	予約確保者の利用者名をすぐに確認できること
13	予約資料が受取館とは別の館に返却された場合は、予約回送票がプリントアウトされること
14	返却資料の蔵書データ管理画面をワンクリックで起動できること
15	返却時に資料状態がチェックされ、禁帯出、付録付き、予約有り、不明、除籍、紛失中などの表示があること
16	返却時にあらかじめ登録されている利用者に対するメッセージが表示されること、また、そのメッセージはシステム管理者が任意に設定できること
17	不明資料は自動的に、通常状態に戻すこと
18	利用者カードをスキャンすると、貸出画面に移行できること
19	貸出回数が指定回数以上になった資料に対してメッセージを表示させることができること
20	所蔵館とは別の館に返却された場合は、所蔵館への移送を知らせる機能があること
21	貸出を行っていない資料をスキャンしてもよいこと
22	相互貸借資料を返却した場合は、メッセージが表示されること
23	1日の返却履歴を確認でき、必要により削除できること
24	返却履歴一覧は、「返却日順」「利用者名順」にソートが可能なこと
25	返却処理をした際に、返却者の残りの貸出資料を同一画面で確認できる返却処理機能があること
26	仮返却中の資料一覧はファイル出力が可能であること

Ⅳ利用者

No	要求仕様
(1)利用者登録	
1	利用者登録画面は、フォーカスが当たっている部分が反転し、登録作業がしやすい設計になっていること
2	利用区分(登録資格)は自由に設定できること
3	電話番号には、自宅、勤務先、携帯などの区分を設けて、複数登録ができること
4	利用者ごとにメール通知の可否が設定できること
5	氏名のほかに、団体名、会社名も入力できること
6	住所コードが登録でき、住所コードから郵便番号と住所を呼び出せること
7	郵便番号からの住所の呼び出しで、設定により郵便番号辞書、住所マスタどちらの町名を採用するか選択できること
8	利用者へのメッセージは、定型句とフリー文言のいずれも可能であること。また、定型句は複数登録できること
9	登録画面上に「当年度利用回数」「累計利用回数」「最終利用日」「督促回数・日」を表示することができること
10	氏名と生年月日による仮登録ができること

11	氏名と生年月日、電話番号による二重登録防止チェックができること
12	利用者データはコピー可能で、コピー時は名字、住所関連事項がコピーされ、家族の利用者などの登録が簡便にできること
13	利用者の住所データや電話番号を更新時に、同じ電話番号の利用者のデータも更新できること
14	新規利用者登録時に家族利用者が存在した場合には画面上に家族の一覧へのリンクを表示させることができること
15	家族の管理は、電話番号以外で関連付ける方法があること
16	有効期限日の更新が簡易にできること
17	利用券の再発行は新規カードに旧カードの利用者データ及び関連情報を継承できること
18	利用券再発行時に理由を登録できること
19	利用券再発行の履歴が画面で確認できること
20	OPACログイン用のパスワードを発行できること
21	パスワード発行時にレシートを出力できること
22	パスワード発行に関して、新規、修正、削除、の履歴(ログ)を残せること
23	利用者登録画面から、個々の利用者の登録済メールアドレスに対してお知らせ等のメールを送信できること
24	上記のお知らせメールの文面は、複数の定型文を登録しておくことが出来、定型文を呼び出して、内容を追記出来ること

(2) 利用者検索

1	氏名(カナ漢字)から検索できること また、利用者名の全文検索も可能なこと
2	電話番号から検索できること また、検索をする際に「-」を入力せず検索ができること
3	住所コードから検索できること
4	生年月日から検索できること また、月日の入力だけでも検索できること

(3) 利用者管理

1	最終利用日や有効期限日を抽出条件として利用者データを一括で削除できること
2	特定の条件で集計した利用者に対して一括でメール送信ができること
3	一括メール送信は条件に合致する貸出または予約がある利用者に限定して送信することも可能であること
4	メール送信対象はファイルからの取込みも可能であること
5	上記のメールの文面は、複数の定型文の登録が可能で、定型文を呼び出して、内容を追記できること
6	延滞利用者に対して、自動的に貸出禁止の状態にできること また、延滞資料が返却された時点で貸出禁止の状態は解除されること

V 検索

No	要求仕様
(1) 全般	
1	番号検索ができること
2	上記検索時、プルダウンを選ばなくてもシステム上で書誌番号やISSN、ISBN等を番号を自動で判断して検索できること
3	図書館独自の情報を書誌に登録でき、かつ検索できること
4	検索項目、一覧表示項目、詳細表示項目を打合せにより指定できること
5	マークデータ全てを検索項目にすることができること
6	全ての項目を対象に全文検索ができること
7	形態素解析や分かちによるキーワード検索ができること
8	濁点、半濁点、長音、促音、拗音、マイナス、大文字、小文字の別を無効として検索できること
9	「宛て先」と「宛先」、「小犬」と「仔犬」と「子犬」など、表記が違っているものがどちらで入力しても検索できること
10	全角半角関係なく検索できること
11	ひらがな、カタカナの区別なく検索できること
12	前方一致、中間一致、後方一致、完全一致で検索できること
13	検索は図書、雑誌、音声資料、映像資料をそれぞれ対象とすることができること また、それぞれを横断する形でも検索できること
14	NDC分類をたどっていく検索ができること(例:200歴史→210日本の歴史→213関東地方)
15	図書館独自の分類による検索ができること
16	同義語検索ができること
17	同義語のデータは図書館で追加、修正、削除ができること

18	登録番号、分類番号、書誌番号、ISBN、マーク番号での検索ができること
19	特集名で検索できること
20	曲名で検索できること
21	分類の項目名や注記などから検索できること
22	MARCデータ(出版情報)のみを指定しての検索ができること
23	書誌、発注中、検収中などの状態を選択して検索が可能であること
24	価格を範囲指定しての検索ができること
25	請求記号での検索ができること また請求記号3段目のみの内容でも検索ができること
26	資料区分、形態区分、蔵書区分、言語区分、所蔵館、所蔵場所、開閉区分、出版年、受入日、受入先などで検索結果を絞り込み、結果を表示できること
27	在架している資料だけを絞り込み、結果を表示できること
28	検索語を複数入力できること
29	検索項目同士での複合検索ができること(AND,OR,NOT)
30	同一項目間での掛け合わせ検索ができること
31	掛け合わせ検索をしてもレスポンスが落ちないこと 100万冊の蔵書データで「日本」「経済」の掛け合わせ検索結果が数秒内のレスポンスで得られること
32	上記検索後に、その詳細結果が表示できること
33	漢字1文字検索でも同様のことができること
34	ひらがな1文字検索でも同様のことができること
35	検索ヒット数の上限は導入時の設定で指定できること
36	検索履歴が保存でき、検索項目として利用できること
37	検索画面で前回検索した検索語や絞り込み条件を呼び出すことができること
38	TRCコード化情報のコードを検索条件として、検索画面に表示し、複数選択して検索できること 画面に表示するコードの種類はパラメータで任意に設定できること
39	TRCTOOLとシームレスに連携して、TOOLデータと自館データとの同時横断検索ができること
40	索引語検索ができること
41	索引語検索では、入力した検索語から検索キーワードの索引を一覧表示し、選択できること
42	索引語検索を行う検索項目(限定子)は任意に設定できること
43	著者典拠データ(TRC、日販)と連携し、典拠検索実行時に統一形と記述形のデータを一覧で確認できること また、統一形・記述形まとめた形で資料の検索ができること
44	著者典拠データ(TRC、日販)と連携し、典拠検索実行時に統一形と参照形(ペンネームなど)のデータを一覧で確認できること また、統一形・参照形まとめた形で資料の検索ができること
45	著者典拠データ(TRC、日販)と連携し、典拠検索実行時に、同名異人のデータを一覧で表示し、区別できること
46	TRCTタイプ一般件名典拠データと連携し、典拠検索で主標目を検索した際に、細目の件名も一覧で確認できること また、主標目・細目それぞれでの検索だけでなく、主標目・細目まとめた資料の検索もできること
47	TRCTタイプ一般件名典拠データと連携し、典拠検索で類義語をキーワードで入力した際に、正規の件名標目を一覧で確認できること
48	TRCTタイプ出版者典拠データと連携し、典拠検索実行時に、異名同出版者のデータを一覧で確認できること また、個々の出版者表記での検索だけでなく、表記違いをすべてまとめた形での資料の検索もできること
49	TRCTタイプ出版者典拠データと連携し、典拠検索実行時に、同名異出版者を区別できること
50	TRCTタイプ全集典拠データと連携し、典拠検索実行時に、異名同全集のデータを一覧で確認できること また、個々の全集表記での検索だけでなく、表記違いをすべてまとめた形での資料の検索もできること
51	TRCTタイプ全集典拠データと連携し、典拠検索実行時に、同名異全集を区別できること
52	TRCTタイプシリーズ典拠データと連携し、典拠検索実行時に、異名同シリーズのデータを一覧で確認できること また、個々のシリーズ表記での検索だけでなく、表記違いをすべてまとめた形での資料の検索もできること
53	TRCTタイプシリーズ典拠データと連携し、典拠検索実行時に、同名異シリーズを区別できること
54	TRCTタイプ学習件名典拠データと連携し、典拠検索で主標目を検索した際に、細目の件名も一覧で確認できること また、主標目・細目それぞれでの検索だけでなく、主標目・細目まとめた資料の検索もできること
55	TRCTタイプ学習件名典拠データと連携し、典拠検索で類義語をキーワードで入力した際に、正規の件名標目を一覧で確認できること
56	TRCTタイプ学習件名典拠データと連携し、典拠検索で学習件名から関連する一般件名、および人名典拠の検索結果に展開できること
57	TRCTタイプ著作典拠データと連携し、典拠検索で著作情報から関連する著作の検索結果に展開できること
58	上記の各種典拠データについては、書誌検索の画面から検索できること
59	典拠検索一覧から、典拠マスタ登録画面が開き、データの修正・確認ができること
60	OAI-PMHによる書誌情報提供APIに対応していること
61	SRU/SRWによる書誌検索APIに対応していること

(2) 検索結果一覧	
1	検索結果一覧では、資料状態(所蔵、予約、選書、発注、除籍、不明、貸出、貸出不可、貸借依頼、貸借借受、貸借返却)の冊数を館別に表示できること また、状態に応じて色を設定できること
2	結果一覧は自館所蔵資料、現在在庫の資料など一目で分かりやすい表示の工夫があること
3	検索結果一覧からキーワードの追加による絞り込み検索ができること
4	結果一覧は以下の項目で並び替えができること 書名(昇順／降順),著者名(昇順／降順),出版者名(昇順／降順),出版年(昇順／降順),分類(昇順／降順)
5	検索結果一覧から資料を複数ピックアップして予約処理が行えること
6	結果結果をプリンタで出力できること
7	検索結果をCSVファイルにダウンロードできること
8	検索結果一覧の表示件数を画面上で切替できること
9	検索結果一覧のページ遷移は、1ページ単位の遷移の他に、ページ番号を指定して該当のページにジャンプできる機能があること
(3) 検索結果詳細	
1	書誌事項は完全に表示できること
2	表紙画像を表示できる機能があること
3	検索結果詳細の書誌情報は、初期表示時には基本項目を表示し、リンクをクリックすることで、内容などの詳細な書誌事項が表示されること
4	書誌事項をCSVのファイルにダウンロードできること
5	上記でダウンロードしたファイルの内容を更新したものを取込むことで、書誌データの更新が出来ること
6	書誌詳細で表示されている著者や、分類、件名、シリーズ名、出版者を使って再入力せず検索できる再検索機能を持つこと
7	再検索項目は、典拠データがある場合は、典拠IDで再検索できること
8	再検索項目は、図書館の指定項目も追加できること。
9	詳細画面から次の詳細画面へワンタッチで移動できること
10	結果一覧から書誌の修正画面へ移動できること
11	検索結果から発注、受入、データ修正処理などハイパーリンクによりさまざまな業務処理画面を開くことができること また、複数画面起動できること
12	検索結果詳細で、資料の所蔵の状況が一覧で確認できること
13	所蔵一覧は、自館に在架している資料が最上位に表示されること
14	所蔵一覧をCSVのファイルにダウンロードできること
15	所蔵一覧から資料の最終貸出者を確認できること。また、最終貸出者の履歴人数は設定で指定できること
16	検索結果詳細で、資料の予約の件数が確認できること
17	検索結果詳細で、資料の選書の状況が一覧で確認できること
18	検索結果詳細で、資料の発注の状況が一覧で確認できること
19	検索結果詳細で、資料の相互貸借の状況が一覧で確認できること
20	検索結果詳細で、その資料を参考資料としているレファレンスのデータが一覧で確認できること
21	検索結果詳細で、資料の予約者、貸出者の情報が確認できること
22	検索結果詳細画面から資料の評価点、評価日、コメントを登録できること

VI 予約

No	要求仕様
(1) 予約登録	
1	検索結果詳細画面から資料の予約ができること
2	検索結果一覧から複数の資料を選択して一括で予約が行えること
3	発注中の資料にも予約ができること
4	利用者を特定してから予約をかけたい書誌を任意に呼び出し予約がかけられること
5	予約希望者がカードを忘れても、利用者検索により情報を呼び出せること
6	特定の所蔵資料に対して予約がかけられること
7	特定の館の所蔵は、予約確保、在架予約ともに受け付けられない設定ができること
8	予約冊数の制限は利用者区分別、資料種別ごとにシステム管理者が任意に設定できること
9	利用制限をオーバーする場合は、メッセージの他に、現在の利用点数と上限の情報が合わせて表示されること
10	予約時に予約受付日を登録できること

11	予約ごとに自動的に予約解除される日を設定(任意設定も可)できること
12	予約受取館が選択できること
13	予約受取BMステーションが選択できること
14	予約時に連絡方法と連絡先番号を指定できること
15	連絡方法をメールにした場合に利用者データにメールアドレスが登録されているか確認すること
16	個人利用者の同一書誌への二重予約の場合メッセージを表示すること
17	団体利用者は同一書誌に対して複数の予約ができること
18	上下巻などのセット物の資料に予約をした際、利用者にセットで提供できる予約方法があること
19	シリーズ物の資料を予約する際に、確保順を指定できること。また、確保順は資料の巻号情報から自動的に取得する方法も可能なこと
20	シリーズものの資料を予約した後、後から追加で新しい巻の予約を追加でき、確保順も指定できること
21	シリーズものの資料を予約した後、後からシリーズ予約を解除できること
22	複数書誌の予約をグループ化することができ、そのうち指定冊数が準備出来たら他の予約は解除されること(例えば同一内容の本で、ハードカバー版と文庫版など)
23	グループ化した予約に対して、提供冊数を指定できること(予約した資料のうち、指定冊数が準備出来た時点で他の予約は解除されること)
24	予約画面で所蔵、発注、相互貸借の一覧が確認できること
25	予約画面において、予約資料に対する予約者の一覧が表示でき、容易に予約順位の変更や予約解除ができること
(2) 在架予約	
1	予約資料が自館になく、他館にある場合に取寄せ(在架予約)の依頼を行なうことができること
2	在架予約の依頼がかかっている資料の一覧は画面上で確認できること
3	在架予約依頼の確認画面では、一覧の内容をA4の紙に出力することができ、棚当たりを使用できること
4	自館の資料に在架予約の依頼がきても拒否することができること、この場合は他の在架館に依頼が転送されること
5	上記の転送をする館の順番は設定できること
(3) 予約連絡	
1	予約資料は、返却された際に確保、もしくは予約移送状態になること
2	予約確保連絡のメールは、手動・自動で送信できること 自動で送信する場合は、確保時に送信するか、毎日特定の時間に送信するか設定できること
3	予約確保連絡メールの件名、本文、フッターは図書館職員が自由に設定できること
4	予約確保連絡メールでは、システムで登録している休館日カレンダーと連携し、メール本文に休館日情報を表示できること
5	休館日に予約確保メールを送信しない設定ができること
6	予約確保メールを送信しない日を個別に指定できること
7	正常に送信されたメールの送信履歴をファイル出力できること
8	エラーで送信できなかったメールの情報をファイル出力できること
9	予約確保連絡のメールが正常に送信された場合、予約データに連絡日時が登録されること
10	連絡方法が電話となっている予約確保済資料を抽出して連絡済みの登録、管理ができること
11	上記の予約連絡処理で連絡が取れなかった利用者については、不在履歴を残すことができ、不在者のみ抽出して再度連絡ができること
(4) 予約その他	
1	確保、仮確保資料となっている資料が当該者により予約解除された場合、通常の利用可能資料となる他に予約者がいる場合は次の利用者に確保されること
2	予約確保資料について、本人に確保資料とは別の複本を貸出した場合に、既存の確保済資料を予約削除し、削除内容はリストに出力されること
3	所蔵資料がすべて不明、長期延滞、紛失、調査などになっている資料に予約がかかっている場合、該当の予約を画面上に表示できること
4	上記の画面から、発注や受入、相互貸借などの処理に直接遷移できること
5	予約の期限日や置き置き期限日を過ぎた資料に対して予約を削除する機能があること。また予約削除は手動、自動の両方が可能であること
6	予約データの確保期限日を一括で変更できること 対象データは利用区分、受取館、連絡方法等で抽出が行え、相互貸借資料を含むかどうかを選択できること
7	予約データの連絡済状態を一括で解除し、再度、電話・メール等での連絡対象とする機能があること

Ⅶ閲覧その他

No	要求仕様
(1) 統計	

1	貸出冊数、返却冊数、利用者数、予約件数について、当日の累計冊数が端末で確認できること
2	一日の業務に関わる数字(入館者数、来館者数)や、催し物の参加状況、勤務状況(所感、アルバイト勤務状況)を日報として登録することができること
3	日報登録で登録された内容を日報、月報、年報の形式で帳票に出力することができること
(2)督促	
1	督促処理は貸出館別に行うことができること
2	任意の時点で任意の期間、督促回数などを設定して、督促者の抽出ができること
3	督促対象外にしたい利用者を個別に指定できること
4	督促対象者のリストが出力できること
5	督促対象者への督促葉書が出力できること
6	はがきの印刷に定型メッセージの印刷欄があり、登録したメッセージの印刷ができること また、メッセージは、予約資料に対する文書と、通常資料に対する文書を分けられること
7	未返却者一覧表示後、延滞資料の在架チェックを行うための帳票が出力できること
8	設定で督促回数をカウントアップでき、貸出画面で確認できること
9	督促対象者への督促メールが送信できること
10	督促メールの文言は、職員が登録するメールパターンマスタより選択できること
11	督促メールでは、システムで登録している休館日カレンダーと連携し、メール本文に休館日情報を表示できること
12	督促記録(督促通知作成日、督促対象資料データ、督促回数)を利用者情報から参照できること
13	督促の履歴(督促日時、督促方法、督促館、督促回数)を管理できること
(3)レファレンス管理	
1	レファレンス事例を新規登録・修正・削除することができること
2	受付情報として、受付日、受付館、受付者、受付方法、質問者情報、質問者区分、調査種別、質問内容を登録できること
3	質問内容に不足があった場合、質問者に質問のメールを送信することができること
4	回答情報として、回答日、回答者、回答方法、回答内容、事前調査事項、回答プロセス、寄与者、照会先、NDC、キーワード、参考資料、参考URL、関連画像を登録することができること
5	質問者にレファレンス調査結果の回答をメールで送信できること
6	連絡済の状態の場合は利用者情報は削除されること
7	レファレンス事例を1件ごとに印刷できること
8	質問内容、回答内容、受付日、回答日、調査種別、受付館、質問者などからレファレンスの事例を検索できること
9	レファレンス事例の検索でヒットした一覧から、参考資料の書誌詳細、所蔵状況を確認できること
10	レファレンス事例の検索でヒットした一覧から、参考URLのページを開けること
11	レファレンス事例の検索でヒットした一覧を紙、もしくはファイルに出力できること
12	登録されている個々のレファレンスデータに対して、OPAC公開可否を設定できること
13	国立国会図書館レファレンス協同データベースシステムに提供するデータを共同DBの形式に合わせたXMLファイルに出力できること また、ファイルに出力した年月日を履歴として登録できること
(4)非常時貸出	
1	オフラインでの貸出/返却の機能があること
2	オフラインデータはサーバへデータアップロード時に、整合性のチェックを行い、貸出、返却、利用者データを更新すること
3	オフラインデータはサーバへデータアップロード時に、未登録資料など資料が「エラーリスト」として出力されること
4	オフラインデータのサーバへデータアップロードは複数ファイルを同時に行えること
5	アップロード時にサーバの閲覧規則に沿って返却期限日を取得するかどうかの選択が可能なこと
6	貸出データ作成時に既貸出資料がある場合は、自動返却を行うか否かを設定できること

Ⅷ図書管理

No	要求仕様
(1)マーク管理	
1	ニッパンマーク、TRCマーク(Uタイプ、Tタイプ)、大阪屋マーク、トーハンマークなど 主要なマークについて取り込み可能であること
2	TRCマークについて、NCR2018に対応したフォーマットの取込みに対応していること
3	視聴覚資料に関して、TRC-AVマーク(Uタイプ、Tタイプ)、NHKマーク、ニッパンAVマーク、大阪屋AVマーク が取り込み可能であること

4	洋書データ(LCMARC)の取り込みができること
5	JAPAN/MARC MARC21フォーマットの取り込みができること
6	TRC内容細目、ニッパン内容細目、トーハン内容細目の取込を行うことができ、検索もできること
7	TRC目次情報のデータが取り込めること
8	典拠データの取込みおよび検索ができること
9	TRCの以下の典拠データを取り込めること 著者、出版者、全集、シリーズ、一般件名、学習件名、著作
10	典拠データの取り込みにおいては、全件の取込みではなく、差分のみ追加で取込みできること
11	画面から典拠データの追加・修正・削除が行えること
12	登録されている典拠データをファイルに出力できること
13	TRC非累積マーク、非累積内容細目、非累積目次情報、非累積AVマーク、非累積AV内容細目のデータが取込めること
14	Toccata MARC SaaS Editionの取込みが可能であること
15	データの取り込みはCD-ROM、オンラインダウンロードいずれも可能であること
16	書誌データ全般を編集可能であること
17	書誌データ編集時に内容が変更されていた場合、書誌内容データが変更されたことをメッセージで表示することができること
18	視聴覚資料の場合、時間・通番・品番・形態を表示できること
19	漢字形から分かち形を自動生成して分かち形からカナ形を自動生成すること
20	書誌項目、書誌データともに全体の長さに制限がないこと
21	書誌の入力時に書誌項目の総覧ができること
22	書誌データをコピーして新たな書誌データを作成できること
23	相互協力貸出、窓口での緊急な登録作業の際に、書名とバーコードのみの簡易書誌登録ができること
24	仮書誌データを登録し、正規マークファイルを取り込み時に上書きできること
25	画像データを書誌データに関連付けられること
26	ISBNを抽出した、CSVテキストファイルが作成できること
27	同一内容の書誌を一方の書誌に統合できること。統合の際に、書誌にリンクされている全てのデータも統合されること
(2) 選書	
1	書誌番号、TRCNO、NPLNO、ISBN、業務用検索から書誌を特定して1件ごとに選書データを作成できること
2	書誌が無い場合は、手作業で書誌データを作成して選書データを作成できること
3	選書画面から書誌のメンテナンスもできること
4	リクエスト登録を行った場合、発注でも相互貸借でも予約と連動して管理でき、図書館員はリクエストの有無を意識せず現物の受入を行うことができること 現物の受入、排架などを行った時点でリクエスト者への確保を行って取置することができること
5	リクエストデータが予約データとなる際に、予約日をリクエスト登録日時にすることができること
(3) 発注	
1	書誌番号、TRCNO、NPLNO、ISBN、業務用検索から書誌を特定して1件ごとに発注を作成できること
2	書誌が無い場合は、手作業で書誌データを作成して発注データを作成できること
3	発注画面から書誌のメンテナンスもできること
4	選書データの一覧、新刊MARCから発注データが作成できること
5	リクエスト者がいる選書データを流用して発注データを作成した場合、発注される資料に対して自動的に予約がかかること
6	選書データから流用して発注データを作成した場合、発注データを削除した際には選書に戻る
7	発注処理には、TRC新刊全点案内のバーコードを読み込むことにより連続処理できること
8	発注は資料検索画面からでも可能であること
9	ある一館から、全ての館の発注処理ができること
10	複本発注は冊数の入力で行うことができること
11	発注登録時の初期値を設定でき、入力の省力化ができること
12	発注データの初期値はログインスタッフ単位や、資料区分単位で設定できること
13	入力負荷を軽減するために、直前の発注データの複写ができること
14	発注処理を抜けるまでは、前に登録していた発注データの区分がデフォルトとして表示されること
15	同一書誌に対して二重発注のチェックができること
16	最大発注可能冊数を制限できること
17	発注情報は任意に追加変更取消ができること
18	オンライン発注に対応していること
19	発注画面から所蔵状況、予約状況が確認できること

20	発注一覧では発注日の絞り込みができる これにより未着の確認を行い、事故区分を選択して一括事故処理ができる
21	条件を指定して抽出した発注データを一括削除できること
(4) 受入	
1	発注番号のバーコード走査で受入処理ができること
2	受入は、発注番号、ISBN、書誌番号の入力から特定でき、受入画面から資料検索も可能であること
3	発注を行わなくとも蔵書データを作成できること
4	書誌が無い場合は、手作業で書誌データを作成して受入データを作成できること
5	オンライン受入ができる
6	ローカルデータ抽出MARCIにより一括受入処理ができること
7	ローカルデータの一括受入時には「仮受入」状態とすることができて、現物との検収処理によりチェックをかけられること
8	視聴覚資料の受入を行うことができること
9	複本管理を行うことができること
10	受入画面で受入資料の所蔵情報、予約情報が確認できること
11	受入画面にて、データ作成日、修正日、点検日が表示できること
12	受入データ作成時に予約データの引き当てができること
13	未受入一覧表を出力できること
14	新着資料一覧表を出力できること
15	請求記号(3段)の印字ができること(ガイブン製、キハラ製、イトイ製)
16	定型バーコードの印字ができること
(5) 排架	
1	受入中のものをスキャンすると在架状態(利用者に提供できる状態)になること
2	予約がかかっている資料をスキャンした場合に、確保ができること
(6) 蔵書管理	
1	所蔵ごとにメッセージが登録でき、貸出/返却画面で表示できること
2	資料の年度毎の貸出回数が履歴として残ること
3	所蔵のデータに最終貸出日を保持していること
4	「期限付別置」「新刊本」「特集コーナー」等の排架を本来の排架場所とは別に登録でき、期限を設定できること。期限終了後自動的に解除されること
5	書誌と現物の関連の間違ったものを、「書誌付替」機能で正しい書誌の下に移すことができること
6	受入日から指定年数以内の資料を削除する際、確認メッセージを表示できること
7	所蔵館・別置記号・開閉区分・除籍区分・和洋区分・排架区分・貸出区分・開閉区分・請求記号などの蔵書データの区分を一括で更新・修正ができること
8	上記の処理はバーコード読み込み、特定条件での抽出結果、ハンディターミナルのポータブル端末でバーコードを読み込んだファイルの3種類から行えること
9	上記の一括更新処理は、変更履歴を保存して新たな更新・修正処理の際に流用できること
10	不明資料を一括で除籍できること
11	書庫への入庫出納の記録を取ることができること
12	書誌単位の目録を出力できること
13	任意の資料バーコードを複数冊読み込んで、書誌の一覧リストをファイルに出力できること
14	所蔵や発注などとリンクがない書誌を抽出して、一括して削除できること
(7) 相互貸借	
1	相互貸借資料のデータが管理できること
2	書誌が無い場合は、手作業で書誌データを作成して貸借データを作成できること
3	依頼先、返却予定日など必要な情報を登録できること
4	相互貸借依頼票を出力できること
5	相互貸借一覧を出力できること
6	相互貸借資料送付票を出力できること
7	依頼先ごとの借受件数などの相互貸借統計が出力できること
8	リクエスト者、受取館、連絡方法等を入力することにより、予約と連動できること
9	借受本の簡易登録ができること
10	利用者からのリクエストに応じて、他館の相互貸借資料の借受依頼ができること。借受依頼の際、書誌(タイトル)情報の簡易登録ができること

11	借受依頼の際、相互貸借申込書の印刷ができること
12	借受依頼によって借りた資料が届いた際、先に登録した簡易書誌(タイトル)情報に簡易所蔵(ローカル)情報を登録連動してリクエスト予約登録ができること(リクエストした利用者に紐づけできること)
13	相互貸借資料をリクエストした利用者に貸出できること
14	どこの館からどの資料を借りているか画面で表示可能であること。また、借受管へ返却済みか等の状態も表示可能であること
15	借受資料を、借受館、書名タイトル、受入日、返還予定日、依頼日を検索できること。また、検索結果を印刷・CSVで出力できること
16	年報(相互貸借館毎、月毎の差出冊数、借受冊数、分類月毎の貸出冊数、借受冊数)や実績一覧(借受タイトル、貸出タイトル)が印刷できること
(8) 予算管理	
1	館毎に費目単位の予算額の登録ができること
2	発注時、受入時に冊数と金額を加算し、統計により残高、執行率、未納額、未納冊数を集計できること

IX 雑誌管理

No	要求仕様
(1) 雑誌管理	
1	雑誌はタイトル別に刊行サイクル情報と受入情報を管理すること
2	TRC雑誌マークの取込みに対応していること
3	マスター情報を作成することで、各号の登録処理については最小限で済むこと
4	価格のデフォルト値はマスタに登録されている価格から取得できること
5	巻号情報などは自動的に算出されセットされること
6	受入画面では巻号情報や価格情報などを、雑誌流通コード(JAN)から呼び出せること(バーコードスキャンで)
7	画像データを巻号データに関連付けられること
8	事前に設定した条件に基づき、“最新号禁帯出”などが自動的にセットされること
9	「禁帯出」とする最新号について、指定された期日がきたら自動的にその制限が解除できること
10	所蔵情報は図書と同様のデータを持つことができ、予約においても、図書、雑誌を意識することなく同様に扱えること
11	排架処理を行うことで、予約確保を行うこと
12	雑誌の契約情報が管理できること
13	届く予定の雑誌が届いていない場合、発行日からの経過日数によって未着状態であると判断することができること
14	未着巻号にも予約を行うことができること
15	未着と予測された雑誌は、メインメニューで通知できること
16	未着雑誌の集計一覧が画面で確認できること
17	雑誌カレントデータから製本所蔵データを登録できること
18	雑誌のデータを図書のデータとして管理方法を変更できること
19	雑誌巻号を別のマスタに編入付替えができること
20	保存期限が過ぎた雑誌巻号を一括除籍できること
(2) 新聞記事登録	
1	新聞・雑誌に掲載された記事内容を登録・修正・削除できること
2	登録した新聞・雑誌の記事内容を業務検索できること
3	登録した新聞・雑誌の記事内容をファイル出力できること

X システム管理

No	要求仕様
(1) スタッフ登録	
1	業務スタッフの新規登録・修正・削除ができること (登録内容は、スタッフ名、ID/PASSWORD、所属館、有効期限、電話番号、内線番号、E-Mail)
(2) 休館日設定	
1	休館日、祝日の登録・修正・削除ができること
2	上記設定は館ごとに個別設定が行えること
3	休館区分に応じて返却期限日および確保期限日の算出の際、休館日として扱うかどうかの制御が行えること

(3) 図書館登録	
1	図書館(分館などのデータ)の追加が任意に行えること
2	OPACに表示する開館時間の案内や図書館からのお知らせをメンテナンスできること
(4) 閲覧規則設定	
1	貸出冊数/貸出日数/返却期限日/予約冊数/予約取置日数/更新回数/督促開始日が図書館でメンテナンスできること
2	館別に貸出冊数、予約冊数を設定できること。また、全館共通の規則も設定できること
3	利用者区分ごとに貸出冊数、予約冊数の設定ができること
4	資料区分ごとに貸出冊数、予約冊数の設定ができること また、複数の資料区分をまとめてでの規則が設定できること
5	課題資料等の貸出期間を、通常の規則とは別に設定できること
6	長期貸出時の閲覧規則設定が館別にできること
(5) コード設定	
1	資料区分や形態区分などのコード設定の一覧が確認できること
2	システム管理者がコードの追加を任意にできること
(6) アクセスログ	
1	貸出/返却/予約や、利用者登録/検索等、意図的に利用者情報を参照する機能を使用時、自動的にアクセス記録の保存可能であること
2	以下のアクセス情報が保存可能であること アクセス日/時刻、アクセス館/IPアドレス/スタッフID、アクセスした業務、アクセスされた利用者番号
3	アクセス記録を保存する/しないを任意設定で変更可能であること
4	保存されたアクセス記録をCSV形式にデータ出力可能であること
(7) システムログ	
1	各処理メニューにアクセスしたスタッフ、日時の操作ログが取得できること
2	各データを新規作成、更新、削除した際の操作ログが取得できること
3	予約の更新履歴のログが取得できること。更新履歴は予約資料が貸出された後からでも取得できること
4	上記、取得した履歴は、CSVファイルに出力できること

X I 蔵書点検

No	要求仕様
(1) 全般	
1	蔵書点検は、点検作業により蓄積したデータのうち資料区分(図書雑誌AV)、別置記号、請求記号などの単位で指定した部分を、記録されていたデータとマッチングすることにより行えること
2	他館の点検範囲指定ができること
3	オフラインで、ハンディ端末ノートパソコンを使用して、点検作業ができること ノートパソコンでのオンライン作業もできること
4	オフラインでファイル取込みを行う際、複数ファイルを一括で取込みできること
5	オフラインの場合、データ更新時にチェックリストを出力して、未登録、所蔵場所違い、予約ありなどが分かること
6	蔵書点検でスキャンした資料が貸出不明であった場合、警告の上、その場で返却や不明解除ができること
7	マッチングによって判明した不明資料(仮)を、調査対象資料としてリスト出力できること
8	上記の調査リストは何回も出力できること
9	調査対象となった不明資料(仮)を一括して不明処理できること、その際、処理した資料のリストを出力して不明回数を1回カウントすること
10	上記の不明リストは再出力ができること、その際不明回数はカウントされないこと
11	指定する回数以上の不明回数に達している資料を一括除籍できて、その結果を統計で確認できること
12	各館(及び場所)毎に蔵書点検ができること。

X II その他

No	要求仕様
(1) 移動図書館管理	
1	移動図書館でのオンラインを使用した貸出、返却、利用者登録が行えること

2	移動図書館での貸出期間は、通常の閲覧規則とは別に設定でき、次の巡回日を返却期限日にするなどの対応ができること
3	BMステーションを受取場所を選択した際、確保期限日を次回巡回日とすることができること。
4	移動図書館の巡回カレンダーを登録し、OPACに公開できること
5	巡回カレンダーのOPAC公開は表示開始日と表示終了日を指定できること
6	電源事故や回線事故に加え、サーバーが稼働していない状況でもカウンタ業務ができること。
7	事故から回復後、上記で処理した内容の反映ができること。
(2)セルフ貸出	
1	利用者自身が操作する端末で貸出ができること
2	貸出資料の読取は バーコードスキャンもしくはカメラによる背表紙撮影で行えること
3	利用券読込時に利用者へのお知らせがある場合は通知がされること
4	貸出時に利用可能冊数の表示ができること
5	貸出前に読込冊数を入力してから読込みを行うようになっていること(読込み漏れ防止)
6	資料読込時ではなく、確定ボタン押下により貸出完了となること
7	貸出完了時には貸出レシートが印刷されること
(3)読書通帳機	
1	読書通帳機と連携ができること
2	読書通帳に印字される項目を指定できること
3	貸出資料名等が読書通帳に印字される期限を設定できること
(4)オーディオブック	
1	図書館システムから検索ができること
2	キーワード入力しなくても検索ができること
3	ジャンル検索ができること
4	音声合成ではなく、人の声で聴けること
5	図書館システムと連携して、本と同じようにおすすめ等を作成できること
6	読むスピードを利用者自身で自由に変更ができること
7	同時アクセス制限がないこと
8	視聴制限がないこと
9	パソコンやスマホから視聴可能であること
10	チャプターで細かく朗読ができること

XⅢタッチパネル式OPAC

No	要求仕様
(1)全般	
1	初心者に配慮した画面の表示ガイドがあること
2	大人用こども用の切り替えができること
3	離席管理機能をもち、一定時間で初期画面に戻ることができること
(2)お知らせ	
1	「お知らせ」メニューとして、開館カレンダー、利用案内、催し物案内、図書館からのお知らせを図書館毎に表示できること
2	催し物案内、図書館からのお知らせは複数登録でき、1件ごとに表示開始日と終了日を設定できること
(3)検索	
1	図書館独自の情報を書誌に登録でき、かつ検索できること
2	マークデータ全てを検索項目にすることができること
3	全文検索ができること
4	形態素解析や分かちによるキーワード検索ができること
5	濁点、半濁点、長音、促音、拗音、マイナス、大文字、小文字の別を無効として検索できること
6	「宛て先」と「宛先」、「小犬」と「仔犬」と「子犬」など、表記が違っているものがどちらで入力しても検索できること
7	全角半角関係なく検索できること
8	ひらがな、カタカナの区別なく検索できること

9	検索は図書、雑誌、音声資料、映像資料をそれぞれ対象とすることができること。また、それぞれを横断する形で検索できること
10	特定の保管場所(紛失中、装備中、修理中等)、資料区分、形態区分、所蔵館の資料についてはOPACに表示をしないこと
11	OPACで検索対象とされる範囲については、所蔵のみか、全資料データか、図書館で変更できること
12	NDC分類をたどっていく検索ができること (例:200歴史→210日本の歴史→213関東地方)
13	図書館独自の分類による検索ができること
14	分類検索においては、分類表に該当資料件数が表示されること
15	同義語検索ができること
16	同一項目間での掛け合わせ検索ができること
17	掛け合わせ検索をしてもレスポンスが落ちないこと。100万冊の蔵書データで「日本」「経済」の掛け合わせ検索結果が数秒内のレスポンスで得られること。ひらがな1文字検索でも同様のことができること。
18	次の典拠データと連携できること TRC典拠データ(個人名典拠、団体名典拠、一般件名典拠、出版者典拠、全集典拠、シリーズ典拠、学習件名典拠) ニッパン典拠データ(個人名典拠、団体名典拠)
19	検索時に、携帯電話の入力方式に合わせたキーワード入力方法が選択できること
20	入力方式を「ひらがな」「カタカナ」「えいすう」に切り替えられること
21	検索ヒット数の上限は導入時の設定で指定できること
22	結果一覧は以下の項目で並び替えができること 書名(昇順/降順),著者名(昇順/降順),出版者名(昇順/降順),出版年(昇順/降順),分類(昇順/降順)
23	検索結果一覧で資料が貸出できるか分かること
24	検索結果一覧で現在いる図書館にある所蔵資料のみの絞り込みができること
25	検索結果一覧に資料のヨミがルビのように表示されること
26	検索結果一覧、詳細画面上で、入力したキーワードがハイライトで表示されること
27	検索結果詳細画面で、資料の内容と所蔵の状況、予約の件数が確認できること
28	詳細画面から次の詳細画面へワンタッチで移動できること
29	検索結果詳細画面で、図書館からのおすすめに登録されている資料は、おすすめ資料の一覧に遷移できるアイコンが表示されること
30	検索結果詳細画面で登録されている資料の表紙データが表示されること
31	検索結果資料の書架案内地図が表示できること
32	書架案内図の横に請求ラベルが表示されること
33	上記の書架案内図の画像が大きい場合には拡大・縮小表示及び、スクロール移動が操作できること
34	OPACの検索回数統計がとれること(館内OPAC/館外OPACごと)
35	OPACの検索条件のログがとれること
(4) 予約	
1	利用者が自分で資料の予約ができること
2	延滞があった場合は予約を受け付けない等の予約条件を図書館で指定できること
3	予約は、複数の資料を選択して一度の認証で登録できること
4	上下巻等の資料をセットで予約できること
5	セットでの予約の際は、セットでの受取を希望するのか、シリーズものの資料を巻号順に順番に受け取るのか、受取方法を選択できること
6	新刊書等の予約は、一定期間は相互貸借(団体)利用者からの予約を制限することができること
7	利用制限をオーバーする場合は、メッセージの他に、現在の利用点数と上限の情報が合わせて表示されること
8	予約時には受取館・連絡方法を指定できること
9	受取館、連絡方法の初期値は前回入力項目が反映されること。あるいは、利用者ごとの初期値を設定できること
10	連絡方法については、連絡先の番号やメールアドレスを選択できること
(5) 利用者のページ	
1	初回ログイン時に、カウンターで発行した仮パスワードから、利用者任意のパスワードに変更できる機能があること
2	利用者が自分で利用状況や予約状況が確認できること
3	予約一覧の内容をレシートに出力できること
4	利用者のページで、有効期限切れ、および有効期限切れに近い旨をメッセージ表示できること
5	利用者が登録しているメールアドレスが、登録ミスなどで送信できないアドレスが登録されていた場合、その旨を画面に表示できること
6	利用者のページで、利用者の備考を表示できること。また、備考についてはOPACに表示しない備考を指定できること
7	利用者の備考は、利用者の確認が済んだら利用者自身で削除ができること

8	利用者がOPAC上で上記のコメントを参照した際に、利用者データにOPAC確認日が自動的に登録され、利用者が備考を見たかどうか職員側で分かること
9	利用者ページの貸出状況一覧で貸出更新ができること
10	利用者ページの予約状況一覧で受取館・連絡方法の変更ができること
11	利用者ページの予約状況一覧で予約のキャンセルができること
12	キャンセルした予約は一定期間、利用者のページに表示され、利用者自身で削除ができること
13	利用者がリクエストした資料の一覧が表示できること
14	利用者のページからパスワードの変更ができること
(6)新着案内	
1	タッチOPACで新着案内を表示できること
2	新着案内は毎晩集計を行い、常に最新の情報が表示可能なこと
3	新着案内から各資料の詳細画面に遷移でき、所蔵状況の確認や予約が行えること
(7)ベストリーダー	
1	タッチOPACでベストリーダーを表示できること
2	ベストリーダーは毎晩集計を行い、常に最新の情報が表示可能なこと
3	ベストリーダーから各資料の詳細画面に遷移でき、所蔵状況の確認や予約が行えること
(8)ベストオーダー	
1	タッチOPACでベストオーダーを表示できること
2	ベストオーダーは毎晩集計を行い、常に最新の情報が表示可能なこと
3	ベストオーダーから各資料の詳細画面に遷移でき、所蔵状況の確認や予約が行えること
(9)資料一覧	
1	タッチOPACで特定の資料(紙芝居、点字資料など)の全件一覧を表示できること
2	資料一覧はリアルタイムで表示可能なこと
3	資料一覧に表示する資料の区分は設定で決められること
4	資料一覧から各資料の詳細画面に遷移でき、所蔵状況の確認や予約が行えること
(10)おすすめリスト	
1	図書館が登録したテーマの資料リストを表示できること
2	一覧画面から資料詳細画面に遷移できること
3	図書館で、各テーマごとに自由に解説文を入力でき、表示できること
4	図書館で、各資料毎に推薦文を入力できること
5	各テーマの表示期間をあらかじめ設定できること

XIVインターネットOPAC

No	要求仕様
(1)全般	
1	大人用子ども用の切り替えができること
2	ホームページリーダーなど音声読み上げソフトに対応していること
3	各画面のページ先頭に本文へスキップする機能に対応していること
4	英語表記、英語メッセージのOPACが用意されていること
5	全画面でログイン状態を保持できること
6	文字の大きさを変更できること
7	UD(ユニバーサルデザイン)フォントを採用できること
8	現在の表示位置を確認できる機能(パンくずリスト)があること
9	カラーユニバーサルデザインマーク(CUDマーク)認定を受けたデザインを選択できること
10	JIS X 8341-3:2016のAAIに第三者機関が認定したデザインを選択できること
11	上記で適合した旨の証明書を提示すること
12	図書館ホームページトップに開館日カレンダーが表示できること
13	なおかつ開館日カレンダーが図書館システムと連携できること
14	図書館ホームページトップに当日と翌日の全館分の開館状況が表示できること
15	図書館ホームページトップにログイン情報が組込みできること

(2)お知らせ	
1	「お知らせ」メニューとして、開館カレンダー、利用案内、催し物案内、図書館からのお知らせを図書館毎に表示できること
2	催し物案内、図書館からのお知らせは複数登録でき、1件ごとに表示開始日と終了日を設定できること
3	催し物案内、図書館からのお知らせでは、関連資料を登録できること
4	催し物案内、図書館からのお知らせは写真などの関連画像を登録できること
5	催し物案内、図書館からのお知らせのサイトのレイアウトは、複数のテンプレートから選択できること
6	図書館からのお知らせのページから、SNSサイトに直接情報発信ができること（Twitter、Facebook、mixiのSNSに対応していること）
7	業務システムで登録した内容を、公開前にプレビューで確認できること
8	休館日カレンダーに催し物のイベント情報を表示できること
9	上記のイベント情報から、開催時間、内容などの詳細情報を確認できること
(3)検索	
1	図書館独自の情報を書誌に登録でき、かつ検索できること
2	マークデータ全てを検索項目にすることができること
3	全ての項目を対象に全文検索ができること
4	キーワード未入力でも絞り込み検索ができること(CD、DVDなどの絞り込みだけで検索できること)
5	形態素解析や分かちによるキーワード検索ができること
6	濁点、半濁点、長音、促音、拗音、マイナス、大文字、小文字の別を無効として検索できること
7	「宛て先」と「宛先」、「小犬」と「仔犬」と「子犬」など、表記が違っているものがどちらで入力しても検索できること
8	全角半角関係なく検索できること
9	ひらがな、カタカナの区別なく検索できること
10	検索は図書、雑誌、音声資料、映像資料をそれぞれ対象とすることができること。また、それぞれを横断する形で検索できること
11	こども用の検索画面では、ソフトウェアキーボード風の文字入力ができること
12	検索語入力欄にキーワードを入力した際、候補となるキーワードが自動的に表示され、選択できること
13	候補となるキーワードは、入力項目単位で制御されること(例:書名の入力欄には書名の候補しか表示されないこと)
14	候補は、検索された件数の多い順に表示されること
15	特定の保管場所(紛失中、装備中、修理中等)、資料区分、形態区分、所蔵館の資料についてはOPACに表示をしないこと
16	設定によって発注中のデータも検索結果に表示されること
17	NDC分類をたどっていく検索ができること(例:200歴史→210日本の歴史→213関東地方)
18	図書館独自の分類による検索ができること
19	分類検索においては、分類表に該当資料件数が表示されること
20	同義語検索ができること
21	検索項目の掛けせや、所蔵館、形態区分、蔵書区分、言語区分等、所蔵データでの絞込み、検索結果の絞込み等、業務用並みの高度な検索ができること
22	資料番号を指定した検索ができること
23	請求記号での検索ができること
24	在架している資料だけを絞り込み、結果を表示できること
25	掛け合わせ検索をしてもレスポンスが落ちないこと。100万冊の蔵書データで「日本」「経済」の掛け合わせ検索結果が3秒内のレスポンスで得られること
26	上記検索後に、その詳細結果が表示できること
27	漢字1文字検索でも同様のことができること
28	ひらがな1文字検索でも同様のことができること
29	内容細目内でのタイトル(曲名)・著者名(作曲者名)の掛け合わせ検索ができること
30	図書館のOPACで検索された回数の多いキーワードを抽出し、「話題のキーワード」として、該当キーワードの検索結果一覧を簡単に表示できること
31	「話題のキーワード」としてOPACに表示するキーワードは、業務システム側で表示可否の制御ができること
32	「話題のキーワード」は、図書館ホームページのトップページに直接表示できること
33	次の典拠データと連携できること TRC典拠データ(個人名典拠、団体名典拠、一般件名典拠、出版者典拠、全集典拠、シリーズ典拠、学習件名典拠)ニッパン典拠データ(個人名典拠、団体名典拠)
34	資料の検索画面で検索を実行した際に、典拠データを参照し、資料の検索結果一覧と合わせて、典拠の検索結果一覧が表示できること。また、典拠データを参照するか否かは検索時に指定できること
35	上記の典拠一覧では、同表記の異なるデータ(人物・出版者など)が区別でき、ペンネームなどの参照形も表示されること
36	上記の典拠一覧から、典拠データを指定して検索結果の絞り込みができること。また、典拠データは複数選択できること
37	検索結果詳細画面で、典拠データを参照し、ペンネームなどの参照形がある場合は、標目指示の横に、参照形の名称を表示し、参照形の名称での再検索ができること

38	検索ヒット数の上限は導入時の設定で指定できること
39	結果一覧は以下の項目で並び替えができること 書名(昇順／降順),著者名(昇順／降順),出版者名(昇順／降順),出版年(昇順／降順),分類(昇順／降順)
40	検索結果一覧の表示件数を画面上で切替できること
41	検索結果一覧には、表紙画像が表示できること
42	検索結果一覧には、貸出可能な所蔵館が表示できること
43	検索結果一覧に資料のヨミガルビのように表示されること
44	検索結果一覧、詳細画面上で、検索時に入力したキーワードがハイライトで表示されること
45	検索結果の一覧画面に、外部サイトの検索結果を確認できるリンクが表示できること
46	外部サイトは、以下に対応していること(WebcatPlus、CiNii、ブクログ、国立国会図書館、カーリル)
47	検索結果一覧には、登録した背表紙画像を横一列に表示させる仮想本棚機能があること
48	検索結果詳細画面で、資料の内容と所蔵の状況、予約の件数が確認できること
49	詳細画面から次の詳細画面へワンタッチで移動できること
50	検索結果詳細の書誌情報は、初期表示時には基本項目を表示し、リンクをクリックすることで、内容などの詳細な書誌事項が表示されること
51	書誌詳細で表示されている著者や、分類、件名、シリーズ名、出版者を使って再入力せず検索できる再検索機能を持つこと
52	再検索項目は、典拠データがある場合は、典拠IDで再検索できること
53	再検索項目は、図書館の指定項目も追加できること
54	検索結果詳細画面で登録された資料の表紙データが表示されること
55	検索結果詳細画面から、SNSサイトに直接情報発信ができること (Twitter、Facebook、mixiのSNSに対応していること)
56	検索結果の詳細画面に、外部サイトの検索結果を確認できるリンクが表示できること
57	外部サイトは、以下に対応していること(WebcatPlus、CiNii、ブクログ、国立国会図書館、カーリル、読書メーター)
58	検索結果詳細画面でオンライン書店とアフィリエイト連携し、表紙データが表示できること
59	検索結果詳細画面で読書メーターのサイトと連携してレビューが表示できること
60	検索結果資料の書架案内地図が表示できること
61	上記の書架案内図の画像が大きい場合には拡大・縮小表示及び、スクロール移動が操作できること
62	OPACの検索回数統計がとれること(館内OPAC/館外OPACごと)
63	OPACの検索条件のログがとれること
64	audiobook.jpやAudiobl等と連携し、OPAC上でオーディオブックの検索、再生が行えること
65	OPAC上で再生されたオーディオブックの統計がとれること
(4) 予約	
1	利用者が自分で資料の予約ができること
2	延滞があった場合は予約を受け付けない等の予約条件を図書館で指定できること
3	検索結果一覧、新着案内、ベストリーダー、ベストオーダーから直接予約登録できること
4	予約は、複数の資料を選択して一度の認証で登録できること
5	上下巻等の資料をセットで予約できること
6	セットでの予約の際は、セットでの受取を希望するのか、シリーズものの資料を巻号順に順番に受け取るのか、受取方法を選択できること
7	グループ予約(複数の資料をまとめて予約し、指定冊数分資料が準備できた時点で残りの予約は解除される予約)の登録ができること
8	新刊書等の予約は、一定期間は相互貸借(団体)利用者からの予約を制限することができること
9	利用制限をオーバーする場合は、メッセージの他に、現在の利用点数と上限の情報が合わせて表示されること
10	予約時には受取館・連絡方法を指定できること
11	受取館、連絡方法の初期値は前回入力項目が反映されること。あるいは、利用者ごとの初期値を設定できること
12	連絡方法については、連絡先の番号やメールアドレスを選択できること
13	予約登録完了時に、個人のメールアドレスに登録完了のメールを送信できること
(5) お気に入り登録	
1	検索結果の詳細画面から、任意の資料を自分のお気に入り登録しておくことができる。登録した本は利用者のページにて確認することができ、そこから予約が行えること
2	お気に入り登録時にフリーのメモを登録しておくことができること
3	お気に入り登録の上限は設定できること
4	お気に入り登録した資料を貸出した時に、登録していたデータを自動的に削除するかどうかは設定で選択できること
5	お気に入り登録した資料を予約した際に、登録していたデータを自動的に削除するかどうかは設定で選択できること

(6) 利用者のページ	
1	初回ログイン時に、カウンターで発行した仮パスワードから、利用者任意のパスワードに変更できる機能があること
2	利用者のページで有効期限日の確認ができること
3	利用者のページに表示される利用券番号はマスク表示に対応できること
4	利用者が自分で利用状況や予約状況が確認できること
5	利用者のページで、有効期限切れ、および有効期限切れに近い旨をメッセージ表示できること
6	利用者が登録しているメールアドレスが、登録ミスなどで送信できないアドレスが登録されていた場合、その旨を画面に表示できること
7	利用者のページで、利用者の備考を表示できること。また、備考についてはOPACに表示しない備考を指定できること
8	利用者の備考は、利用者の確認が済んだら利用者自身で削除ができること
9	利用者がOPAC上で上記のコメントを参照した際に、利用者データにOPAC確認日が自動的に登録され、利用者が備考を見たかどうか職員側で分かること
10	利用者のページで、当年度利用回数、累計利用回数、最終利用日が表示できること
11	貸出状況一覧では資料区分毎の貸出冊数が表示できること
12	貸出状況一覧では以下の項目で並び替えができること 貸出館、貸出日、返却期限日
13	貸出状況一覧で貸出更新ができること。設定により更新可否の選択ができること
14	貸出状況一覧では、タイトルをクリックすることで、資料の詳細情報を表示でき、お気に入り登録や書評の登録ができること
15	予約状況一覧では現在の予約件数と準備できた予約の件数が表示できること
16	予約状況一覧では以下の項目で並び替えができること 状況、受取館、予約日、予約待ち期限日、予約取置期限日
17	予約状況一覧で受取館・連絡方法、予約待ち期限日の変更ができること
18	シリーズ予約を解除できること
19	既に登録済のシリーズ予約に他の予約資料を追加できること
20	通常で登録している予約をシリーズ予約にまとめることができること
21	シリーズ予約の確保順を変更できること
22	予約状況一覧で予約のキャンセルができること
23	予約キャンセル時に予約の取消理由が登録可能なこと
24	予約状況一覧では、タイトルを選択することで、資料の詳細情報を表示でき、お気に入り登録や書評の登録ができること
25	キャンセルした予約は一定期間、利用者のページに表示され、利用者自身で削除ができること
26	予約キャンセル一覧では、タイトルをクリックすることで、資料の詳細情報を表示でき、お気に入り登録や予約登録、書評の登録ができること
27	利用者がお気に入り登録した資料の一覧が表示できること
28	お気に入り一覧では、データの削除や、メモの更新ができること
29	お気に入り一覧は、任意のカテゴリでグルーピングできること
30	お気に入り一覧では、タイトルをクリックすることで、資料の詳細情報を表示でき、予約登録や書評の登録ができること
31	利用者がリクエストした資料の一覧が表示できること
32	リクエスト一覧では、タイトルをクリックすることで、資料の詳細情報を表示でき、お気に入り登録や予約登録、書評の登録ができること
33	利用者のページからパスワードの変更ができること
34	利用者のページから電話、メールアドレスの変更ができること
35	メールアドレス変更時は、変更完了メールが送信できること
36	変更完了メールの件名、本文、フッターは図書館職員が自由に設定できること
37	利用者が貸出・予約した資料、今度読みたい本に登録した資料情報を元にタイトル・著者・件名を抽出し、検索した結果をおすすめリストとして作成・表示が行えること
38	上記のおすすめリストを作成するための情報として、本人の貸出履歴を残すかどうかを利用者自身で選択できる機能があること
39	利用者のページからレファレンスの質問を送信できること。送信された内容は、即時にデータベースに登録されること
40	自分が申し込んだレファレンスの質問の調査状況を利用者のページで確認できること
41	返却期限日が近い資料のリマインドメールを受け取るかどうかを利用者が指定できること
(7) 新規パスワード生成	
1	パスワード未登録の利用者は、OPACより利用券番号、電話番号、生年月日の認証によりパスワードを発行できること
(8) 新着案内	
1	新着案内を表示できること
2	新着案内は毎晩集計を行い、常に最新の情報が表示可能なこと

3	新着案内から各資料の詳細画面に遷移でき、所蔵状況の確認や予約が行えること
4	一覧には、登録した背表紙画像を横一列に表示させる仮想本棚機能があること
5	一覧画面は、一覧表示・仮想本棚表示の切替が可能であること
6	仮想本棚表示時には選択している資料がわかりやすく表示できること (本をつかんでいるような動作など)
(9)ベストリーダー	
1	ベストリーダーを表示できること
2	ベストリーダーは毎晩集計を行い、常に最新の情報が表示可能なこと
3	ベストリーダーから各資料の詳細画面に遷移でき、所蔵状況の確認や予約が行えること
(10)ベストオーダー	
1	ベストオーダーを表示できること
2	ベストオーダーは毎晩集計を行い、常に最新の情報が表示可能なこと
3	ベストオーダーは、現在の予約待ち人数で集計するのか、過去の予約累積数で集計するのか設定できること
4	ベストオーダーから各資料の詳細画面に遷移でき、所蔵状況の確認や予約が行えること
(11)資料一覧	
1	特定の資料(紙芝居、点字資料など)の全件一覧を表示できること
2	資料一覧はリアルタイムで表示可能なこと
3	資料一覧に表示する資料の区分は設定で決められること
4	資料一覧から各資料の詳細画面に遷移でき、所蔵状況の確認や予約が行えること
(12)雑誌タイトル一覧	
1	図書館で受け入れている雑誌のタイトル一覧を表示できること
2	雑誌タイトル一覧はリアルタイムで表示可能なこと
3	一覧は、タイトルの先頭文字での絞り込みができること
4	雑誌タイトル一覧から巻号一覧、各資料の詳細画面に遷移でき、所蔵状況の確認や予約が行えること
(13)おすすめリスト	
1	図書館が登録したテーマの資料リスト、HPリストを表示できること
2	資料リストから資料詳細画面に遷移できること
3	資料リストは、登録順、出版年降順、出版年昇順、出版者、著者、タイトル順で並び替えができること
4	図書館で、各テーマごとに自由に解説文を入力でき、表示できること
5	図書館で、各テーマごとに関連画像を登録でき、表示できること
6	図書館で、各資料毎に推薦文を入力できること
7	各テーマの表示期間をあらかじめ設定できること
8	おすすめリストの登録は、業務システムのマスタ登録画面より資料バーコードを読み込むだけで、データの資料登録ができること
9	おすすめリストの登録は、業務システムのマスタ登録画面より資料バーコードを読み込んだテキストファイルを取込むだけで、データの資料登録ができること
10	おすすめリストの登録は、業務システムのマスタ登録画面より資料の検索結果から一度にまとめてデータの資料登録ができること
11	登録した資料のリストをエクセルで出力できること
12	一覧には、登録した背表紙画像を横一列に表示させる仮想本棚機能があること
13	表紙画像または背表紙画像の表示設定は、資料毎に職員様で任意に設定できること
14	一覧画面は、一覧表示・仮想本棚表示の切替が可能であること
15	仮想本棚表示時には選択している資料がわかりやすく表示できること (本をつかんでいるような動作など)
(14)レファレンスサービス	
1	レファレンス管理で登録されたレファレンスデータの検索ができること
2	検索でヒットするレファレンスデータは、OPAC公開可にしているデータのみとすること
3	レファレンスデータの検索項目は、質問内容、回答内容、分類、受付日、質問区分が用意されていること
4	検索を実行せず、OPACに公開できるデータの全件を表示することが可能なこと
5	レファレンスデータの検索結果一覧では、質問内容、回答内容、参考資料、参考URL、受付日、調査種別が表示できること

6	レファレンスデータの検索結果一覧から参考資料をクリックして、資料の書誌詳細画面に遷移し、所蔵状況の確認や予約が行えること
7	レファレンスデータの検索結果一覧から参考URLをクリックして、該当ページを開くことができること
8	利用券を発行していない利用者からもレファレンスの質問受付ができること

XVスマートフォンOPAC

No	要求仕様
(1)全般	
1	全画面でログイン状態を保持できること
(2)お知らせ	
1	「お知らせ」メニューとして、開館カレンダー、利用案内、催し物案内、図書館からのお知らせを図書館毎に表示できること
2	催し物案内、図書館からのお知らせは複数登録でき、1件ごとに表示開始日と終了日を設定できること
3	催し物案内、図書館からのお知らせでは、関連資料を登録できること
4	催し物案内、図書館からのお知らせは写真などの関連画像を登録できること
5	図書館からのお知らせのページから、SNSサイトに直接情報発信ができること（Twitter、Facebook、mixiのSNSに対応していること）
(3)検索	
1	図書館独自の情報を書誌に登録でき、かつ検索できること
2	マークデータ全てを検索項目にすることができること
3	全ての項目を対象に全文検索ができること
4	キーワード未入力でも絞り込み検索ができること(CD、DVDなどの絞り込みだけで検索できること)
5	形態素解析や分かちによるキーワード検索ができること
6	濁点、半濁点、長音、促音、拗音、マイナス、大文字、小文字の別を無効として検索できること
7	全角半角関係なく検索できること
8	ひらがな、カタカナの区別なく検索できること
9	検索は図書、雑誌、音声資料、映像資料をそれぞれ対象とすることができること。また、それぞれを横断する形でも検索できること
10	検索語入力欄にキーワードを入力した際、候補となるキーワードが自動的に表示され、選択できること
11	候補となるキーワードは、入力項目単位で制御されること(例：書名の入力欄には書名の候補しか表示されないこと)
12	候補は、検索された件数の多い順に表示されること
13	特定の保管場所(紛失中、装備中、修理中等)、資料区分、形態区分、所蔵館の資料についてはOPACに表示をしないこと
14	設定によって発注中のデータも検索結果に表示されること
15	NDC分類をたどっていく検索ができること(例:200歴史→210日本の歴史→213関東地方)
16	図書館独自の分類による検索ができること
17	分類検索においては、分類表に該当資料件数が表示されること
18	検索項目の掛け合わせや、所蔵館、形態区分、蔵書区分、言語区分等、所蔵データでの絞込み、検索結果の絞込み等、業務用並みの高度な検索ができること
19	在架している資料だけを絞り込み、結果を表示できること
20	掛け合わせ検索をしてもレスポンスが落ちないこと。100万冊の蔵書データで「日本」「経済」の掛け合わせ検索結果が3秒内のレスポンスで得られること
21	上記検索後に、その詳細結果が表示できること
22	漢字1文字検索でも同様のことができること
23	ひらがな1文字検索でも同様のことができること
24	内容細目内でのタイトル(曲名)・著者名(作曲者名)の掛け合わせ検索ができること
25	図書館のOPACで検索された回数の多いキーワードを抽出し、「話題のキーワード」として、該当キーワードの検索結果一覧を簡単に表示できること
26	「話題のキーワード」としてOPACに表示するキーワードは、業務システム側で表示可否の制御ができること
27	「話題のキーワード」は、図書館ホームページのトップページに直接表示できること
28	検索ヒット数の上限は導入時の設定で指定できること
29	結果一覧は以下の項目で並び替えができること 書名(昇順/降順)、著者名(昇順/降順)、出版者名(昇順/降順)、出版年(昇順/降順)、分類(昇順/降順)
30	雑誌の巻号一覧では、発行年月日による一覧の絞り込みができること
31	検索結果一覧上で、貸出可能な資料かどうか判断できること
32	検索結果一覧、詳細画面上で、検索時に入力したキーワードがハイライトで表示されること

33	検索結果の一覧画面に、外部サイトの検索結果を確認できるリンクが表示できること
34	外部サイトは、以下に対応していること(WebcatPlus、CiNii、ブクログ、国立国会図書館、カーリル)
35	検索結果詳細画面で、資料の内容と所蔵の状況、予約の件数が確認できること
36	詳細画面から次の詳細画面へワンタッチで移動できること
37	検索結果詳細の書誌情報は、初期表示時には基本項目を表示し、リンクをクリックすることで、内容などの詳細な書誌事項が表示されること
38	書誌詳細で表示されている著者や、分類、件名、シリーズ名、出版者を使って再入力せず検索できる再検索機能を持つこと
39	再検索項目は、典拠データがある場合は、典拠IDで再検索できること。
40	再検索項目は、図書館の指定項目も追加できること。
41	検索結果詳細画面で登録された資料の表紙データが表示されること
42	検索結果詳細画面から、SNSサイトに直接情報発信ができること (Twitter、Facebook、mixiのSNSに対応していること)
43	検索結果の詳細画面に、外部サイトの検索結果を確認できるリンクが表示できること
44	外部サイトは、以下に対応していること(WebcatPlus、CiNii、ブクログ、国立国会図書館、カーリル、読書メーター)
45	検索結果詳細画面でオンライン書店とアフィリエイト連携し、表紙データが表示できること
46	検索結果詳細画面で読書メーターのサイトと連携してレビューが表示できること
47	OPACの検索回数統計がとれること(館内OPAC/館外OPACごと)
48	OPACの検索条件のログがとれること
49	audiobook.jpやAudible等と連携し、OPAC上でオーディオブックの検索、再生が行えること
50	OPAC上で再生されたオーディオブックの統計がとれること
(4) 予約	
1	利用者が自分で資料の予約ができること
2	延滞があった場合は予約を受付けない等の予約条件を図書館で指定できること
3	検索結果一覧、新着案内、ベストリーダー、ベストオーダーから直接予約登録できること
4	予約は、複数の資料を選択して一度の認証で登録できること
5	上下巻等の資料をセットで予約できること
6	セットでの予約の際は、セットでの受取を希望するのか、シリーズものの資料を巻号順に順番に受け取るのか、受取方法を選択できること
7	グループ予約(複数の資料をまとめて予約し、指定冊数分資料が準備できた時点で残りの予約は解除される予約)の登録ができること
8	新刊書等の予約は、一定期間は相互貸借(団体)利用者からの予約を制限することができること
9	利用制限をオーバーする場合は、メッセージの他に、現在の利用点数と上限の情報が合わせて表示されること
10	予約時には受取館・連絡方法を指定できること
11	受取館、連絡方法の初期値は前回入力項目が反映されること。あるいは、利用者ごとの初期値を設定できること
12	連絡方法については、連絡先の番号やメールアドレスを選択できること
13	予約登録完了時に、個人のメールアドレスに登録完了のメールを送信できること
(5) お気に入り登録	
1	検索結果の詳細画面から、任意の資料を自分のお気に入り登録しておくことができること 登録した本は利用者のページにて確認することができ、そこから予約が行えること
2	お気に入り登録時にフリーのメモを登録しておくことができること
3	お気に入り登録の上限は設定できること
4	お気に入り登録した資料を貸出した時に、登録していたデータを自動的に削除するかどうかは設定で選択できること
5	お気に入り登録した資料を予約した際に、登録していたデータを自動的に削除するかどうかは設定で選択できること
(6) 利用者のページ	
1	初回ログイン時に、カウンターで発行した仮パスワードから、利用者任意のパスワードに変更できる機能があること
2	利用者のページで有効期限日の確認ができること
3	利用者のページに表示される利用券番号はマスク表示に対応できること
4	画面上に利用券のバーコードを表示でき、利用券の代わりとして利用できること
5	利用者が自分で利用状況や予約状況が確認できること
6	利用者のページで、有効期限切れ、および有効期限切れに近い旨をメッセージ表示できること
7	利用者が登録しているメールアドレスが、登録ミスなどで送信できないアドレスが登録されていた場合、その旨を画面に表示できること
8	利用者のページで、利用者の備考を表示できること。また、備考についてはOPACに表示しない備考を指定できること
9	利用者の備考は、利用者の確認が済んだら利用者自身で削除ができること

10	利用者がOPAC上で上記のコメントを参照した際に、利用者データにOPAC確認日が自動的に登録され、利用者が備考を見たかどうか職員側で分かること
11	利用者のページで、当年度利用回数、累計利用回数、最終利用日が表示できること
12	貸出状況一覧では資料区分毎の貸出冊数が表示できること
13	貸出状況一覧で貸出更新ができること。設定により更新可否の選択ができること
14	貸出状況一覧では、タイトルをクリックすることで、資料の詳細情報を表示できること
15	予約状況一覧では現在の予約件数と準備できた予約の件数が表示できること
16	予約状況一覧で受取館・連絡方法、予約待ち期限日の変更ができること
17	シリーズ予約を解除できること
18	既に登録済のシリーズ予約に他の予約資料を追加できること
19	通常で登録している予約をシリーズ予約にまとめることができること
20	シリーズ予約の確保順を変更できること
21	予約状況一覧で予約のキャンセルができること
22	予約キャンセル時に予約の取消理由が登録可能なこと
23	予約状況一覧では、タイトルを選択することで、資料の詳細情報を表示できること
24	キャンセルした予約は一定期間、利用者のページに表示され、利用者自身で削除ができること
25	予約キャンセル一覧では、タイトルをクリックすることで、資料の詳細情報を表示でき、お気に入り登録ができること
26	利用者がお気に入り登録した資料の一覧が表示できること
27	お気に入り一覧では、データの削除や、メモの更新ができること
28	お気に入り一覧は、任意のカテゴリでグルーピングできること
29	お気に入り一覧では、タイトルをクリックすることで、資料の詳細情報を表示でき、予約登録や書評の登録ができること
30	利用者がリクエストした資料の一覧が表示できること
31	リクエスト一覧では、タイトルをクリックすることで、資料の詳細情報を表示でき、お気に入り登録や予約登録、書評の登録ができること
32	利用者がリクエストをキャンセルした資料の一覧が一定期間表示できること
33	リクエストキャンセル一覧では、タイトルをクリックすることで、資料の詳細情報を表示でき、お気に入り登録ができること
34	利用者のページからパスワードの変更ができること
35	利用者のページから電話、メールアドレスの変更ができること
36	メールアドレス変更時は、変更完了メールが送信できること
37	変更完了メールの件名、本文、フッターは図書館職員が自由に設定できること。
38	返却期限日が近い資料のリマインドメールを受け取るかどうかを利用者が指定できること
(7)新規パスワード生成	
1	パスワード未登録の利用者は、OPACより利用券番号、電話番号、生年月日の認証によりパスワードを発行できること
(8)新着案内	
1	新着案内を表示できること
2	新着案内は毎晩集計を行い、常に最新の情報が表示可能なこと
3	新着案内から各資料の詳細画面に遷移でき、所蔵状況の確認や予約が行えること
(9)ベストリーダー	
1	ベストリーダーを表示できること
2	ベストリーダーは毎晩集計を行い、常に最新の情報が表示可能なこと
3	ベストリーダーから各資料の詳細画面に遷移でき、所蔵状況の確認や予約が行えること
(10)ベストオーダー	
1	ベストオーダーを表示できること
2	ベストオーダーは毎晩集計を行い、常に最新の情報が表示可能なこと
3	ベストオーダーは、現在の予約待ち人数で集計するのか、過去の予約累積数で集計するのか設定できること
4	ベストオーダーから各資料の詳細画面に遷移でき、所蔵状況の確認や予約が行えること
(11)資料一覧	
1	特定の資料(紙芝居、点字資料など)の全件一覧を表示できること
2	資料一覧はリアルタイムで表示可能なこと
3	資料一覧に表示する資料の区分は設定で決められること
4	資料一覧から各資料の詳細画面に遷移でき、所蔵状況の確認や予約が行えること

5	一覧は、タイトルの先頭文字での絞り込みができること
(12)雑誌タイトル一覧	
1	図書館で受け入れている雑誌のタイトル一覧を表示できること。
2	雑誌タイトル一覧はリアルタイムで表示可能なこと
3	雑誌タイトル一覧から巻号一覧、各資料の詳細画面に遷移でき、所蔵状況の確認や予約が行えること
4	一覧は、タイトルの先頭文字での絞り込みができること
(13)おすすめリスト	
1	図書館が登録したテーマの資料リスト、HPリストを表示できること。
2	資料リストから資料詳細画面に遷移できること。
3	資料リストは、登録順、出版年降順、出版年昇順、出版者、著者、タイトル順で並び替えができること
4	図書館で、各テーマごとに自由に解説文を入力でき、表示できること
5	図書館で、各テーマごとに関連画像を登録でき、表示できること
6	図書館で、各資料毎に推薦文を入力できること。
7	各テーマの表示期間をあらかじめ設定できること。
8	おすすめリストの登録は、業務システムのマスタ登録画面より資料バーコードを読み込むだけで、データの資料登録ができること
9	おすすめリストの登録は、業務システムのマスタ登録画面より資料バーコードを読み込んだテキストファイルを取込むだけで、データの資料登録ができること
10	おすすめリストの登録は、業務システムのマスタ登録画面より資料の検索結果から一度にまとめてデータの資料登録ができること
11	登録した資料のリストをエクセルで出力できること

XVI帳票

No	要求仕様
(1)全般	
1	帳票については「帳票一覧」の内容、出力条件のとおりであり、すべての帳票が出力できること
2	出力は画面プレビューにて確認後行えること(設定によりレシートプリンタ出力もできること)
3	リスト、統計データはCSVファイルに出力して、Excel等の表計算ソフトで編集できること
4	下記リストにないものに関して、ODBC接続機能によりACCESS,EXCELなどを用いて、サーバデータを参照することができて、帳票の自由なレイアウト設計・出力ができること
5	日本図書館協会の公共図書館調査、ならびに公立図書館長協議会の補足調査に必要なデータが抽出できること
6	UTF8(多言語)での出力ができること
7	帳票の抽出条件をお気に入り登録できること
8	統計などの集計条件をあらかじめ登録しておき、指定日時に自動的に集計処理を実行することができること

出力帳票

	帳票名	内容
(1)閲覧関連		
1	貸出票(レシート)	貸出日、貸出者(利用券番号)、貸出館(電話番号も)、貸出資料、資料区分、返却日、巻号(雑誌の場合)、図書館からの連絡
2	予約確保票(レシート)	資料情報(タイトル/著者名/出版者/資料番号/所蔵館/請求記号)、予約者情報、電話区分、電話番号、予約備考、確保日、確保期限、確保通知方法、予約番号、予約種別、利用冊数、出力館、出力日時
3	予約回送依頼票(レシート)	回送先、資料情報(タイトル/著者名/出版者/資料番号/所蔵館/請求記号)、出力館、出力館、出力日時
4	移送確認票(レシート)	移送元→移送先、移送冊数、移送番号(バーコード出力)
5	在架予約出庫依頼票	出力館、出力日時、開閉区分、請求記号、書誌情報、資料番号、依頼館、依頼日時
6	在架予約出庫依頼票(レシート)	予約番号、資料名、所蔵状況、請求記号、予約者名、利用券番号、受付日、予約場所、資料番号(バーコード出力)
7	検索結果一覧	出力館、出力日時番号、書誌番号、タイトル、出版者、出版年、分類、予約数、所蔵状況
8	ベスト(ワースト)リーダー	出力条件、出力館、出力日時、順位、書名、著者名、出版者、貸出数、副本数
9	ベストオーダー	出力条件、出力館、出力日時、順位、書名、著者名、出版者、書誌番号、蔵書区分、資料番号、請求記号、予約数、取消数、予約待ち件数、所蔵数、発注数、選書数
10	予約一覧リスト	出力条件、出力館、出力日時、利用券番号、利用者名、電話番号、依頼館、受取館、予約日時、予約確保日、通知日、予約順位、予約状態
11	予約カード	利用者名、利用者区分、利用券番号、電話番号、依頼館、受取館、予約日、予約モード、予約確保日、資料番号、資料名、予約状態、備考
12	予約取消一覧リスト	出力条件、出力館、出力日時、利用券番号、名前、ヨミ、電話番号、依頼館、受取館、予約日時、予約確保日、通知日、取消日、取消区分、OPAC区分、予約ID、タイトル
13	予約確保解除リスト	出力条件、出力館、出力日時、確保解除館、確保解除日、利用券番号、利用者名、請求記号、書誌情報、資料番号
14	貸出者一覧リスト	出力条件、出力館、出力日時、利用券番号、利用者名、電話番号、住所、資料区分、資料番号、貸出日、返却日、所在区分、資料名、督促件数、予約件数
15	貸出資料リスト	出力条件、出力館、出力日時、所蔵館、排架区分、開閉区分、請求記号、資料区分、資料番号、タイトル、予約数、貸出館、貸出者情報(利用券番号、利用者名)、延滞
16	督促状	郵便番号、住所、利用者名、資料種別、資料番号、返却期限日、貸出館
17	督促リスト	出力条件、出力館、出力日時、利用者番号、利用者名、郵便番号、住所、電話番号、生年月日、貸出冊数、資料番号、貸出日、返却日、延滞日数、所蔵館、資料名、排架区分、開閉区分、請求記号、予約数
18	延滞リスト	出力条件、出力館、出力日時、所蔵館、排架区分、開閉区分、請求記号、資料区分、携帯区分、資料番号、タイトル、予約数、貸出館、貸出者情報(利用券番号/利用者名/電話番号/生年月日)、延滞数、貸出冊数
19	利用者リスト	出力条件、出力館、出力日時、登録館、利用者番号、利用者名、生年月日、性別、利用者区分、郵便番号、住所、連絡先区分、有効期限、メールアドレス、発行回数、発効日、貸出件数、予約件数
20	配送リスト	出力条件、出力館、出力日時、配送館、配送日、取置期限、予約状況、利用者番号、利用者名、バーコード、タイトル
21	送信済みメールリスト	出力条件、出力館、出力日時、送信日時、書誌番号、利用券番号、メールアドレス、資料バーコード、タイトル、メッセージ
22	MAIL未送信リスト	出力条件、出力館、出力日時、配信日、書誌番号、利用券番号、資料番号、タイトル、エラー内容

23	館月別開館日数(閲覧管理)	館、月、開館日数
24	日報出力	出力条件、出力館、出力日時、年度・月・日、入館者数、団体入館者数、来館者数、コピー件数、レファレンス受付数、催し物、所感、アルバイト勤務状況
25	公共図書館調査票	開館日数、来館者数、登録者数、有効登録者数、児童個人登録者数、団体数、個人貸出数、内自治体内個人貸出数、団体貸出数、相互貸借借受数、相互貸借貸出数、予約件数、レファレンス件数、決算額(図書費、新聞雑誌費、視聴覚資料費、自動車図書館、分室、その他)、予算額(図書費、新聞雑誌費、視聴覚資料費、自動車図書館、分室、その他)、年間受入雑誌種類
26	年齢－時間別貸出統計	出力条件、出力館、出力日時、対象図書館、性別、年齢、時間、性別ごとの小計、合計
27	BM－年齢別貸出統計	出力条件、出力館、出力日時、BM、性別、年齢、時間、性別ごとの小計、合計
28	BM－日別貸出統計	出力条件、出力館、出力日時、BM、日、時間、合計
29	BM－月別貸出統計	出力条件、出力館、出力日時、BM、月、時間、合計
30	BM－時間別貸出統計	出力条件、出力館、出力日時、BM、時間、合計
31	日－年齢別貸出統計	出力条件、出力館、出力日時、対象図書館、性別、年齢、日、時間、合計
32	日－時間別貸出統計	出力条件、出力館、出力日時、対象図書館、日、時間、合計
33	館－年齢別貸出統計	出力条件、出力館、出力日時、対象図書館、日、年齢、合計
34	館－日別貸出統計	出力条件、出力館、出力日時、対象図書館、日、合計
35	館－月別貸出統計	出力条件、出力館、出力日時、対象図書館、月、合計
36	館－時間別貸出統計	出力条件、出力館、出力日時、対象図書館、時間、合計
37	館－月別返却統計	出力条件、出力館、出力日時、対象図書館、時間、合計
38	館－日別返却統計	出力条件、出力館、出力日時、対象図書館、日、合計
39	月－日別返却統計	出力条件、出力館、出力日時、月、日、合計
40	資料形態－年齢別貸出統計	出力条件、出力館、出力日時、対象図書館、資料区分、形態区分、年齢、小計、合計
41	資料形態－日別貸出統計	出力条件、出力館、出力日時、対象図書館、資料区分、形態区分、日、小計、合計
42	資料形態－館別貸出統計	出力条件、出力館、出力日時、対象図書館、資料区分、形態区分、小計、合計
43	資料形態－月別貸出統計	出力条件、出力館、出力日時、対象図書館、資料区分、形態区分、月、小計、合計
44	資料形態－時間別貸出統計	出力条件、出力館、出力日時、対象図書館、資料区分、形態区分、時間、小計、合計
45	資料形態-利用・利用者層区分別貸出統計	出力条件、出力館、出力日時、対象図書館、資料区分、形態区分、利用者区分、小計、合計
46	月－年齢別貸出統計	出力条件、出力館、出力日時、対象図書館、月、年齢、合計
47	月－日別貸出統計	出力条件、出力館、出力日時、対象図書館、月、日、合計
48	月－時間別貸出統計	出力条件、出力館、出力日時、対象図書館、月、時間、合計
49	資料分類－年齢別貸出統計	出力条件、出力館、出力日時、対象図書館、資料区分、NDC分類番号、性別、年齢、小計、合計
50	資料分類－日別貸出統計	出力条件、出力館、出力日時、対象図書館、資料区分、NDC分類番号、性別、年齢、小計、合計
51	資料分類－館別貸出統計	出力条件、出力館、出力日時、対象図書館、資料区分、NDC分類番号、小計、合計

52	資料分類一月別貸出統計	出力条件、出力館、出力日時、対象図書館、資料区分、NDC分類番号、月、小計、合計
53	資料分類一時間別貸出統計	出力条件、出力館、出力日時、対象図書館、資料区分、NDC分類番号、時間、小計、合計
54	資料分類別蔵書冊数統計(不明区分別)	出力条件、出力館、出力日時、対象図書館、資料区分、NDC分類番号、不明区分、小計、合計
55	性別一年齢別貸出統計	出力条件、出力館、出力日時、対象図書館、性別、年齢、合計
56	地区一年齢別貸出統計	出力条件、出力館、出力日時、対象図書館、性別、年齢、地区、合計
57	地区一日別貸出統計	出力条件、出力館、出力日時、対象図書館、日、地区、合計
58	地区一館別貸出統計	出力条件、出力館、出力日時、対象図書館、地区、合計
59	地区一月別貸出統計	出力条件、出力館、出力日時、対象図書館、月、地区、合計
60	地区一時間別貸出統計	出力条件、出力館、出力日時、対象図書館、日、地区、合計
61	曜日一年齢別貸出統計	出力条件、出力館、出力日時、対象図書館、性別、年齢、曜日、合計
62	曜日一時間別貸出統計	出力条件、出力館、出力日時、対象図書館、時間、曜日、合計
63	曜日-時間別返却統計	出力条件、出力館、出力日時、対象図書館、時間、曜日、合計
64	蔵書一年齢別貸出統計	出力条件、出力館、出力日時、利用者区分、蔵書区分、年齢、小計、合計
65	蔵書一年齢別返却統計	出力条件、出力館、出力日時、利用者区分、蔵書区分、年齢、小計、合計
66	蔵書一年齢別貸出予約統計	出力条件、出力館、出力日時、利用者区分、蔵書区分、年齢、小計、合計
67	年齢一時間別貸出(利用者・登録者・予約)統計 (曜日改ページ)	出力条件、出力館、出力日時、性別、年齢、曜日、時間、小計、合計
68	時間帯別利用統計	出力条件、出力館、出力日時、時間帯、利用者数、貸出冊数、貸出冊数平均、返却冊数、予約冊数、登録者数
69	月別利用統計(年報)	出力条件、出力館、出力日時、月、開館日数、利用者数合計、利用者数一日平均、貸出冊数合計、貸出冊数一日平均、貸出冊数平均、返却冊数合計、返却冊数一日合計、予約冊数合計、予約冊数一日平均、登録者数合計、登録者数一日平均
70	利用統計(日報)-貸出資料細目	出力条件、出力館、出力日時、時間帯、資料区分別貸出冊数、利用者数、返却冊数、予約冊数、登録者数
71	利用統計(月報)-貸出資料細目	出力条件、出力館、出力日時、月、開館日数、資料区分別貸出冊数、利用者数、返却冊数、予約冊数、登録者数
72	利用統計(年報)-貸出資料細目	出力条件、出力館、出力日時、日、資料区分別貸出冊数、利用者数、返却冊数、予約冊数、登録者数
73	実利用者数統計	出力条件、出力館、出力日時、年度、登録館、年齢帯、住所コード
74	予約種別統計	出力条件、出力館、出力日時、年度、月、予約種別(業務、Web外、Web内、タッチパネル、携帯OPAC)、図書館、予約数、取消数、小計、合計
75	依頼先-依頼館別相互貸借統計	出力条件、出力館、出力日時、依頼館、依頼先館、貸借件数、合計
76	依頼先-月別相互貸借統計	出力条件、出力館、出力日時、月、依頼先館、貸借件数、合計
77	依頼館-月別相互貸借統計	出力条件、出力館、出力日時、月、依頼館、貸借件数、合計
78	団体-依頼館別団体貸出統計	出力条件、出力館、出力日時、団体、依頼館、貸出件数、合計
79	団体-月別団体貸出統計	出力条件、出力館、出力日時、団体、月、貸出件数、合計
80	団体-資料区分別団体貸出統計	出力条件、出力館、出力日時、団体、依頼館、資料区分、貸借件数、合計
81	団体-資料区分別団体貸出統計(貸出回数)	出力条件、出力館、出力日時、団体、依頼館、資料区分、貸借件数、合計

82	依頼館-月別団体貸出統計	出力条件、出力館、出力日時、団体、依頼館、貸借件数、合計
83	団体別予約統計	出力条件、出力館、出力日時、団体名、月、予約件数、合計
84	貸出返却処理統計	出力条件、出力館、出力日時、所蔵館、処理館、貸出件数(返却件数)
85	移送統計	出力条件、出力館、出力日時、移送先、移送元、移送件数
86	パスワード発行統計	出力条件、出力館、出力日時、年度、月、図書館、在学・通勤区分
87	利用券忘れ統計(日・月・年報)	出力条件、出力館、出力日時、年月日、年齢帯、利用区分、利用券忘れ件数
88	メールマガジン・新着資料案内 配信統計(種類-日別)	出力条件、出力館、出力日時、年月、日、種類(メールマガジン・新着資料案内)、配信件数
89	メールマガジン・新着資料案内 登録数統計(年齢-日別)	出力条件、出力館、出力日時、年月、日、種類(メールマガジン・新着資料案内)、登録件数
90	メールマガジン・新着資料案内 削除数統計(年齢-日別)	出力条件、出力館、出力日時、年月、日、種類(メールマガジン・新着資料案内)、削除件数
91	新着資料案内 登録条件一覧	出力条件、出力館、出力日時、ID、分類グループ、カテゴリ、書名、著者名、出版者、件名、登録日、修正日、削除日、利用券登録有無
(2)レファレンス管理		
1	レファレンス統計(日・月・年報)	出力条件、出力館、出力日時、年、年齢帯、調査種別、受付件数
2	レファレンスデータファイル出力	質問内容、公開レベル、管理番号、事例作成日、回答内容、状況、調査種別、参考資料、参考URL
(3)AVブース管理		
1	AVブース貸出票	受付ID、受付日、利用券、利用日時、ブース名、資料名、出力日時
2	AVブース予約票	受付ID、受付日、利用券、予約日時、ブース名、資料名、出力日時
(4)図書管理関連		
1	選定リスト	出力条件、出力館、出力日時、選書ID、資料名、著者名、出版者、選定価格、分類番号、ISBN、選定館、選定日、選定者
2	発注短冊	出力条件、出力館、出力日時、発注先、発注番号(バーコード出力)、冊数、資料名、著者名、出版者、出版年月日、価格、ISBN、マークNo.、請求記号、発注館
3	発注書	出力条件、出力館、出力日時、発注先、発注番号冊数、資料名、著者名、出版者、出版年月日、価格、ISBN、マークNo.、請求記号、発注館、発注区分、支払区分
4	受入リスト	出力条件、出力館、出力日時、資料番号、請求記号、受入日、受入先、受入区分、資料区分、蔵書区分、排架区分、開閉区分、新着対象、資料名
5	蔵書原簿	出力条件、出力館、出力日時、出力件数、バーコード、書誌番号、受入日、排架日、別置記号、請求記号、統計用分類記号、資料区分、蔵書区分、形態区分、和洋区分、言語区分、所蔵館、排架区分、貸出区分、新着対象外フラグ、開閉区分、受入区分、受入先、不明区分、除籍区分、除籍日、タイトル、著者名、出版者、出版年、ISBN、価格
6	資料目録	出力条件、出力館、出力日時、タイトル(シリーズ)、責任表示、出版者、出版年、ISBN、請求記号、書誌番号、バーコード
7	ISBN総合目録(ファイル出力のみ)	ISBN
8	請求ラベル印刷	請求記号
9	バーコード印刷	バーコード番号
10	相互貸借依頼票	出力館、依頼先情報(依頼先名/TEL/FAX)、依頼文章、依頼元情報(依頼元名/郵便番号/住所/TEL/FAX)、資料情報(書誌事項/ISBN/マークNo./冊数/コメント)
11	相互貸借資料送付票	出力日、申込館、書名、著者名、返却期限日、送付館
12	相互資料一覧	出力条件、出力館、出力日時、資料番号、依頼先、借受日、資料区分、蔵書区分、書名、資料バーコード、冊数、利用券番号、受取館

13	資料分類別蔵書統計	出力条件、出力館、出力日時、図書館、受入区分、除籍区分、蔵書数、移籍元館、移動先、資料区分、合計
14	受入館別蔵書統計	出力条件、出力館、出力日時、受入館、受入区分、除籍区分、蔵書数、移籍元館、移動先、資料区分、NDC分類、合計
15	予算執行額明細票	出力条件、出力館、出力日時、資料番号、受入日、タイトル、費目区分、費目細目区分、冊数、受入額
16	予算執行額統計	出力条件、出力館、出力日時、費目区分、費目細目区分、予算額、発注額、発注冊数、執行額、執行冊数、未納額、未納冊数、残高、執行率
(5)雑誌管理関連		
1	雑誌マスタ管理リスト	出力条件、出力館、出力日時、マスタID、出版者、出版年、ISSN、資料区分、形態区分、蔵書区分、和洋区分、言語区分、別置記号、請求記号、雑誌コード、定価、検索対象、発売情報、刊行状態
2	購読管理リスト	出力条件、出力館、出力日時、購読ID、発注先、マスタID、タイトル、出版者、受入区分、受入冊数
3	未着予測リスト	出力条件、出力館、出力日時、発注先、マスタID、タイトル、刊行頻度、発売情報、定価、未着巻号、購読番号、受入館、冊数、発注区分、受入区分
4	新聞・雑誌記事データ出力	出力条件、出力館、出力日時、記事ID、データ登録日、登録館、種別、記事タイトル、記事著者名、掲載雑誌新聞名、掲載巻号、掲載ページ、記事内容、リンク先マスタID、リンク先カレントID、分類
5	雑誌統計	出力条件、出力館、出力日時、マスタID、タイトル、カレント数、館所蔵、総数
(6)非常時BM関連		
1	非常時BM貸出エラーリスト	出力条件、出力館、出力日時、エラー種別、資料番号、利用者番号、処理日時
2	非常時BM貸出未登録リスト	出力条件、出力館、出力日時、エラー種別、資料番号、利用者番号、処理日時
3	非常時BM貸出返却リスト	出力条件、出力館、出力日時、返却館、資料番号、資料名、種別、移送先、所蔵館、排架場所、返却日時、コメント
4	BM利用者エラーリスト	出力条件、出力館、出力日時、エラー種別、利用券番号、利用者名、処理日時
(7)蔵書点検関連		
1	不明リスト	出力館、出力日時、タイトル、著者名、出版年、別置記号、請求記号、資料番号、資料区分、蔵書区分、形態区分、排架区分、和洋区分、開閉区分、貸出区分、特別状況区分、不明区分、不明日、不明回数
2	エラーリスト	出力館、出力日時、エラー内容、端末ID、スキャンNo.、資料番号、前のバーコード番号、後ろのバーコード番号、棚番号
3	未返却・予約リスト	出力館、出力日時、タイトル、著者名、大きさ、ページ、別置記号、請求記号、エラー内容、棚・排架・特別状況、資料番号、端末ID、スキャンNo.、前のバーコード番号、後ろのバーコード番号、資料区分、蔵書区分、形態区分、排架区分、和洋区分、開閉区分、貸出区分、特別状況区分
4	不明・除籍発見リスト	出力館、出力日時、タイトル、著者名、大きさ、ページ、別置記号、請求記号、エラー内容、棚・排架・特別状況、資料番号、端末ID、スキャンNo.、前のバーコード番号、後ろのバーコード番号、資料区分、蔵書区分、形態区分、排架区分、和洋区分、開閉区分、貸出区分、特別状況区分、不明区分、不明日、除籍区分、除籍日
5	誤排架、相互貸借、他図書館リスト	出力館、出力日時、タイトル、著者名、大きさ、ページ、別置記号、請求記号、エラー内容、棚・排架・特別状況、資料番号、端末ID、スキャンNo.、前のバーコード番号、後ろのバーコード番号、資料区分、蔵書区分、形態区分、排架区分、和洋区分、開閉区分、貸出区分、特別状況区分、所蔵館、本来棚番
6	不明処理リスト	出力館、出力日時、タイトル、著者名、出版年、別置記号、請求記号、資料番号、予約数、資料区分、蔵書区分、形態区分、排架区分、和洋区分、開閉区分、貸出区分、特別状況区分、不明区分、不明回数、不明日、除籍区分、除籍日
7	蔵書点検統計	出力館、出力日時、資料区分、分類、不明数、不明閣下ウ、除籍数、除籍価格、合計

(8)一括処理関連		
1	一括不明削除リスト	出力館、出力日時、出力条件、資料番号、タイトル、著者名、出版者、価格、資料区分、不明区分、不明日、不明回数
2	一括利用者削除集計一覧	出力館、出力日時、出力条件、利用券番号、利用者名、性別、生年月日、郵便番号、住所、電話番号、有効期限、在学・通勤区分、メールアドレス、最終利用日、発行回数、発行日、貸出数、予約数、確保数、予約取消数、リクエスト集、利用館、
3	一括延滞削除リスト	出力館、出力日時、出力条件、所蔵館、排架区分、資料番号、タイトル、著者名、出版者、出版年、資料区分、形態区分、貸出館、貸出日、返却期限日、貸出者情報(利用券番号/利用者名/電話番号)
4	一括除籍削除リスト	出力館、出力日時、出力条件、所蔵館、タイトル、著者名、出版者、出版年、別置記号、請求記号、資料番号、所蔵数、発注数、予約数、資料区分、蔵書区分、形態区分、排架区分、和洋区分、開閉区分、貸出区分、特別状況区分、不明区分、不明日、不明回数、除籍区分、除籍日
5	一括区分変更(集計型)	出力館、出力日時、出力条件、所蔵館、排架区分、資料番号、書誌事項、受入日、別置記号、請求記号、資料区分、形態区分、蔵書区分、開閉区分、予約有無、貸出有無、特別状況区分
6	一括区分変更(ファイル取り込み型)	出力館、出力日時、出力条件、所蔵館、排架区分、資料番号、書誌事項、受入日、別置記号、請求記号、資料区分、形態区分、蔵書区分、開閉区分、予約有無、貸出有無、特別状況区分
7	一括区分変更エラーリスト(ファイル取り込み型)	出力館、出力日時、読込日、読込番号、資料番号、読込日時、エラー内容、前のバーコード番号、後のバーコード番号
8	利用者一括区分変更(集計型)	出力館、出力日時、出力条件、利用券番号、利用者名、登録館、登録BM、利用区分、在学通勤区分、性別、貸出禁止区分、近隣地区コード、住所コード、郵便番号、利用者層区分、発行日、最終利用日、有効期限日、利用者備考区分
(9)OPAC関連		
1	予約確認票(レシート)	タイトル、著者名、出版者、利用券番号、受入希望館、連絡方法、予約待ち期限日、図書館からの連絡
2	所在確認票(レシート)	タイトル、著者名、出版者、出版年、シリーズ名、ISBN、書誌番号(バーコード出力も)、所蔵情報(所蔵館/状態/排架場所/請求記号)、出力日時
3	OPAC検索回数統計	出力条件、出力館、出力日時、月、日、館外OPAC、館内OPAC、タッチパネルOAPC、合計
4	検索ログファイル出力	出力条件、出力館、出力日時、検索日、検索時間、検索画面種別、場所、ヒット件数、所蔵館、資料区分、形態区分、蔵書区分、和洋区分、言語区分、検索限定子、検索語、検索位置、論理演算子
(10)システム関連		
1	典拠データファイル出力	出力条件、出力館、出力日時、抽出日時、典拠情報
2	データアクセスログ一覧	出力条件、出力館、出力日時、日時、スタッフ名、データ種類、データ修正種類、データNo
3	メニューアクセスログ一覧	出力条件、出力館、出力日時、日時、スタッフ名、メニュー名
4	利用者アクセスログ出力	出力条件、出力館、出力日時、アクセス日、アクセス時間、利用券番号、アクセススタッフ、アクセス館、アクセスIP、プログラムID、処理名称、OPAC区分、種別、利用者番号